

SHARP[®]

インフォメーションディスプレイ

MultiSync[®]

形名

PN-M322

取扱説明書

HDMI[®]

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ご使用前に「安全にお使いいただくために」（4 ページ）を必ずお読みください。

もくじ

ご使用の前に.....	3
安全にお使いいただくために.....	4
使用上のご注意.....	10
商標・ライセンスについて.....	11
付属品を確認する.....	12
各部の名前.....	13
設置について.....	15
機器の接続.....	19
電源の接続.....	21
リモコンの準備.....	22
電池の入れかた.....	22
リモコンで操作できる範囲.....	23
電源の入／切.....	24
主電源を入れる.....	24
電源を入れる.....	24
電源を切る.....	24
電源オンモードと電源オフモード.....	25
パワーマネージメント機能.....	26
基本的な操作.....	27
ボタン/キーで操作する.....	27
リモコンで操作する.....	27

各種設定メニュー.....	31
メニューの基本操作.....	31
メニュー項目の詳細.....	33
入力.....	33
映像設定.....	35
音声設定.....	39
スケジュール.....	40
保護設定.....	42
システム.....	44
メディアプレーヤーメニューの使い方.....	47
便利な機能.....	50
リモコンIDモード機能について.....	56
マルチディスプレイ接続.....	57
コンピューターで本機を制御する(RS-232C).....	58
コンピューターで本機を制御する(LAN).....	59
HTTPを使用したブラウザー によるネットワークの設定.....	60
ネットワーク設定.....	62
コマンドによる制御.....	66
Proof of Play機能.....	67
故障かな?と思ったら.....	68
アフターサービスについて.....	73
仕様.....	74
付録-A 外部のリソース.....	77
設置時の注意事項(ご販売店・設置業者様用).....	78

ご使用の前に

電波障害に関するご注意

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI－B

付属のケーブルを使用してください。HDMI 入力端子、DisplayPort 入力端子、USB Type-A 端子、RS-232C 入力端子はシールドタイプを使用してください。D-sub 入力端子はシールドタイプでフェライトコア付きのケーブルを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

通信回線に接続するときのご注意

本機は法令上、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどの機器を経由して接続してください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気」に関するガイドラインに適合しています。

お願い

- ※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。ただし、長時間同じ画像を表示し続けると、消えない場合があります。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- (5) 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- (6) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項および（4）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本書をお読みください。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の財産に損害をあたえたりすることがあります。

図記号の意味は次のとおりです。

	この記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
	この記号はしてはいけないことを表しています。
	この記号はしなければならないことを表しています。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

 プラグを抜く	下記の場合、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 ・ 本機から煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合 ・ 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合 お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
 分解禁止	裏ぶたを外さない、修理・改造をしない。 内部には電圧の高い部分があり、さわるとけが・火災・感電の原因となります。修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
 使用禁止	ぐらついたり、スタンドにひびがある場合は近づかない。 本機が転倒してけがの原因となります。修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
電源コードについて	
 禁止	電源コードを傷つけない、加工しない。 ・ 電源コードを本機や重い物の下敷きしない。 ・ 電源コードを敷物などで覆わない。 ・ 電源コードを無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない。 ・ 電源コードを加熱しない。 電源コードが破損すると、火災・感電の原因となります。破損した場合（芯線の露出・断線など）は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。
 接触禁止	雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない。 感電の原因となります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となります。
 指示	電源コードは付属または指定のものを使用する。 付属や指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。付属の電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。 AC 200 V (50/60Hz) のコンセントでお使いになる場合は、別売の電源コードが必要です。
 指示	正しい電源電圧で使用する。 付属の電源コードは AC100V・日本国内専用です。指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
 禁止	アース線を電源コンセントに挿入・接触させない。 火災・感電の原因となります。

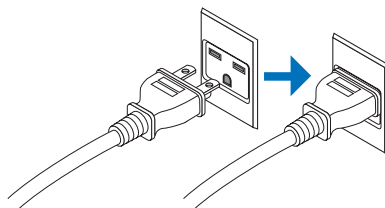
警告



アース線を
接続せよ

アースに接続する。

- 本機はアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 200 V 用電源コード (別売) をお使いになるときは、3 芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してください。2 芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。
- アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。



指示

据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店に依頼する。

工事が不完全ですと重大事故の原因となります。



指示

設置するときに気を付けること。

スタンドなどの取り付け器具が必要です。

運搬、移動、設置の際は十分な安全を確保できる人数で作業してください。落下してけがの原因となることがあります。

市販の取り付け器具を使用する際は、器具の取扱説明書を参照し、取り付け、取り外し方法の詳細を確認してください。

布などで通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

以下の場所には設置しないでください。

- 風通しや換気の悪い所
- 直射日光のあたる所や熱器具のそば
- 振動の多い所
- 湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所
- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する所
- 屋外

- 温度、湿度が急激に変化し結露がしやすい所

結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

- 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できない所

荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受け、確実に取り付けてください。強度が不十分な場合、落下して重大事故の原因となることがあります。

- 人が容易にぶら下がったり、寄りかけられるような場所、頭や目がぶつかってしまうような所。

上下逆さまに設置しないでください。

警告



指示

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどを軽減するために、転倒・落下防止対策を講じる。
取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの軽減を意図したものではありません。

- 固定しないと転倒してけがの原因となることがあります。
丈夫なロープを用いて本機を固定する
スタンドによってはスタンド側に転倒防止対策が施されている場合があります。スタンドの取扱説明書も参照ください。

- 本機を十分保持できる壁や柱などに、しっかり固定する。
- ロープは本機の重さに耐えられる丈夫なものを使用する。
- 本機を移動する場合は、事前にロープを外す。

落下すると重大事故の原因となることがあります。

- 落下防止用ワイヤーのみでは絶対に壁掛け設置・天吊り設置しない。
- 建物や構造物の丈夫な箇所と本機の所定の箇所を市販のフック、金具などを用いて落下防止用ワイヤーで接続する。
- 市販のフック、金具、ワイヤーは本機を保持するのに十分強度のある物をご使用する。
- 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置する。

安定性と危険について

本機が落下すると重大事故の原因となることがあります。けがなどを軽減するために、本機を設置する際は取扱説明書の手順に従い、床や壁に確実に取り付けてください。特にお子様に関する事故の多くは簡単な方法で防ぐことができます。

- 推奨されているスタンドを使用し、取扱説明書の手順に従って取り付ける。
 - 本機を安全に支えることができる什器に設置する。
 - 本機がはみださない大きさの什器に設置する。
 - 本機にさわろうとして設置している什器に登ったりすると危険であることをお子様に説明する。
 - 本機に接続するコードやケーブルは、つまずかないように、また引っ張ったりつかんだりできないように配線する。
 - 本機を不安定な場所に設置しない。
 - 本機を背の高い什器に設置する場合は、本機と什器、什器と壁や柱など、それぞれをしっかりと固定する。
 - 本機の下に布などを敷かない。
 - 本機や設置している什器の上に、お子様の興味を引くようなもの（玩具やリモコンなど）は置かない。
- 設置場所を変える場合は、上記をふまえて設置してください。



禁止

ぐらつく台の上や、傾斜面、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



禁止

異物をいれない。
火災・感電の原因となります。特にお子様にご注意ください。
異物が本機の中に入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理をご依頼ください。



水ぬれ禁止

水のかかるところに置かない。
水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。
エアコン等水を排出する機器にも注意してください。



禁止

清掃時に可燃性ガスのスプレーを使用しない。
火災の原因となります。



禁止

生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。

安全にお使いいただくために



注意

電源コードについて

 指示	電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する。
 しっかり 差し込む	電源プラグを奥までさしこむ。 電源コードが容易に抜けるのを防止する。 差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。 電源コードが抜けるのを防止するため、本機付属のケーブルクランプとネジで固定してください。
 指示	火災や感電を防ぐために、次のことを守る。 - 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。 - お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 - 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめる。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
 ほこりを取る	電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。 火災・感電の原因となることがあります。
 指示	電源コードやケーブル類を抜いてから移動する。 コードやケーブルが引っかかり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
 禁止	電源コードは、タコ足配線しない。 タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。
 禁止	電源コードおよび USB ケーブルは束ねない（丸めない）。 ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。
 禁止	過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない。 本機の LAN 端子は、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN 端子に過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。
 禁止	本機を設置している台には乗らない。 本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。 キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。
 指示	スタンドの取り付けや高さを調節する場合。 本機とスタンドの間に手や指をはさむとけがの原因となることがあります。 高さ調節が可能なスタンドは指定された位置に固定してください。指定以外の位置では、転倒してけがの原因となることがあります。
 禁止	本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下らない。 硬いものでこすったり、たたいたりしない。 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。
 禁止	画面に衝撃を加えない。 先のとがった物で押さない。 破損してけがや故障の原因となることがあります。

注意

 指示	乾電池は適切に取り扱う。 乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂によるけがの原因となることがあります。 ・ 指定以外の電池を使用しない。 ・ 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる。 ・ 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。 乾電池は種類によって特性が異なります。 ・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。 新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液が漏れるおそれがあります。 ・ 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す。 液が漏れて故障の原因となるおそれがあります。 漏れた液に触れたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。 漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。 皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。 ・ 長時間使わないときは、電池を取り出す。 ・ 高温になる場所や気圧の低い場所に放置しない。 破裂したり乾電池から可燃性の液やガスが漏れる可能性があります。 ・ 乾電池を水の中に投入したり、器具で押しつぶしたり、焼却、加熱、切断、改造しない。 破裂のおそれがあります。 ・ 乾電池をショートや充電をしない。 ・ 乾電池を廃棄する際は、プラス（+）とマイナス（-）をセロハンテープで絶縁して廃棄する。 廃棄する際は販売店、または自治体に問い合わせてください。
 禁止	本機の温度が高くなる部分に長時間触れない。 低温やけどの原因となることがあります。
 指示	適度な明るさの環境で使用する。 画面の反射による目の疲れを防ぐために、適度な明るさの中でご使用ください。
 通風孔の清掃	通風孔を掃除する。 通風孔がごみやほこりでふさがると内部に熱がこもり火災や感電の原因となることがあります。月に一度は通風孔に付着したごみやほこりを取り除いてください。
 内部清掃	1年に一度は内部掃除を。 内部にほこりがたまったらそのまま使うと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。内部掃除はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼ください。
 指示	温度や湿度が急激に変化する環境での使用や保管は避ける。 以下の使用環境・保管環境を守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。 使用環境温度：0 ～ 40℃ / 湿度：20 ～ 80%（結露のないこと） 保管環境温度：-20 ～ 60℃ / 湿度：10 ～ 80%（結露のないこと）

使用上のご注意

 国内専用	本製品は日本国内用として製造・販売しています。 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではお受けできません。 This product is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.
 指示	キャビネットのお手入れ • お手入れの際は電源プラグを抜いてください。 • 柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げててください。 • ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。
画面のお手入れ • 画面にほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。 • 画面の汚れは、乾いたきれいな布で軽くふき取ってください。しめった布や化学ぞうきんでふき取らないでください。また、同じ布を繰り返し使用しないでください。 • 画面は傷つきやすいので、硬いもので押したりこすったりしないように注意してください。 • 画面は触指などにより汚れることのないように注意してください。	
上手な見方 明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。 また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。	
電磁波妨害に注意してください 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。	
ネットワークについて • ネットワークには、通信内容を盗み見られたり、不正にアクセスされるなどの危険があります。安全が確保されたネットワークで使用してください。	

商標・ライセンスについて

- Microsoft® および Windows® は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
- DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- MultiSync、TILE COMP はシャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standards Association の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Blu-ray は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- PJLink および PJLink ロゴは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

【お知らせ】 本製品で使用している MPEG-4 AVC、MPEG-4 Visual ライセンスについて

1. MPEG AVC

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

2. MPEG-4 Visual

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

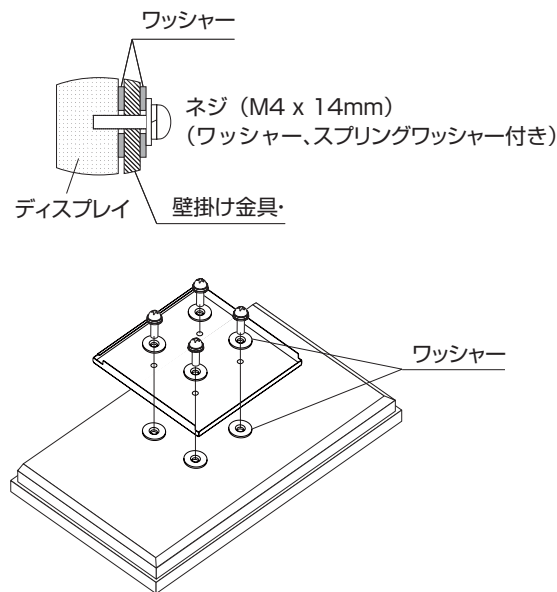
付属品を確認する

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

- ☐ 本体：1 台
- ☐ リモコン：1 個
- ☐ リモコン用乾電池（単 4 形）：2 本
- ☐ ケーブルクランプ：1 個
- ☐ ケーブルクランプ取付ネジ（M4）：1 個
- ☐ 電源コード（AC100 V 用・約 3 m）：1 本
- ☐ セットアップマニュアル：1 部
- ☐ 保証書：1 部
- ☐ HDMI ケーブル（約 2 m）：1 本
- ☐ M6 壁掛け金具専用付属品
 - ネジ（M4 x 14 mm、ワッシャー、スプリングワッシャー付き）：4 個
 - ワッシャー：8 個

ご注意

- ネジ穴が M6 の壁掛け金具に取り付ける際は、必ず付属のワッシャーを使用し、ネジをしっかりと締めてください。落下すると重大事故の原因となることがあります。

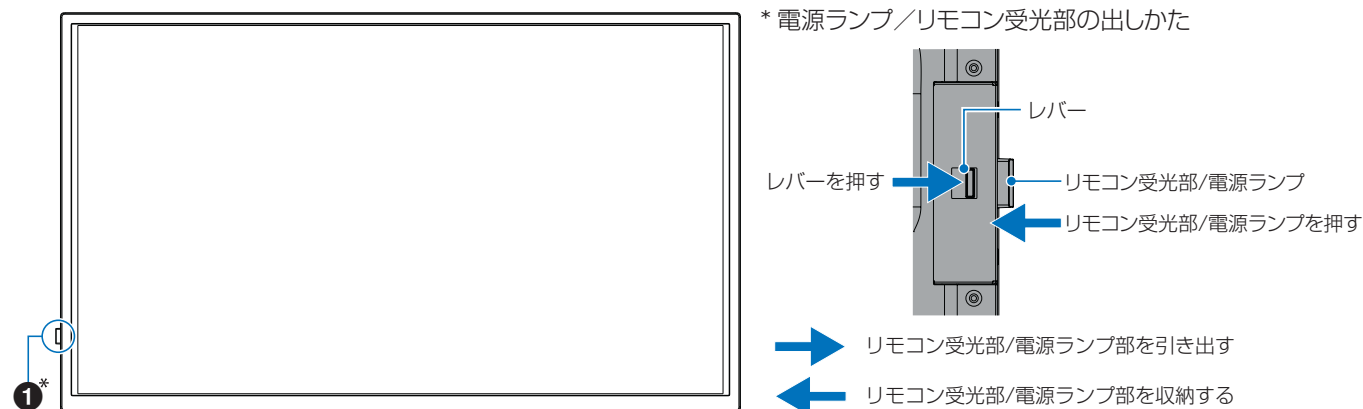


ご参考

- AC200V（50/60Hz）のコンセントを使用するときは、別売の電源コード（QACCJ1093MPPZ）を使用してください。

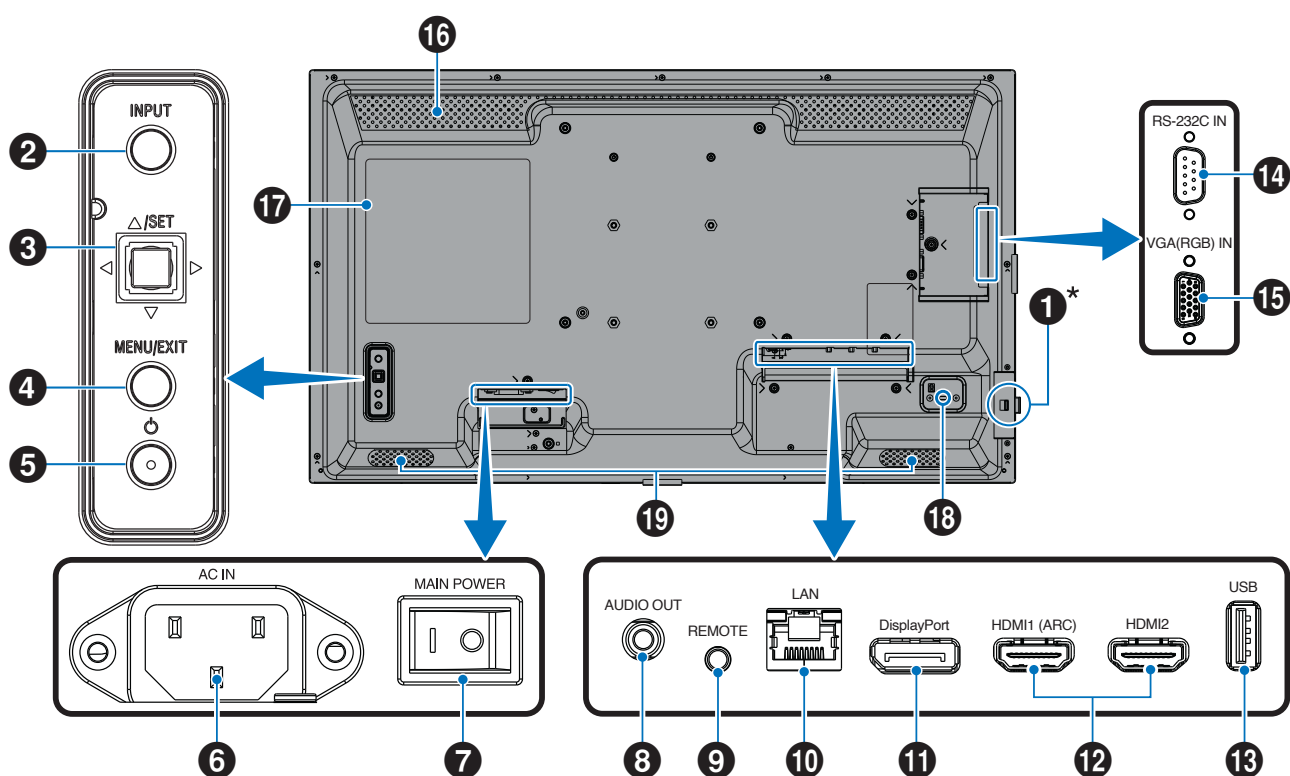
各部の名前

■ 前面



① 電源ランプ (25 ページ) / リモコン受光部 (23 ページ)

■ 後面



① 電源ランプ (25 ページ) / リモコン受光部 (23 ページ)

② INPUT (入力切替) ボタン (27 ページ)

③ Joystick キー / SET ボタン (27 ページ)

④ MENU/EXIT ボタン (27 ページ)

⑤ 電源ボタン (27 ページ)

⑥ 電源接続端子 (21 ページ)

⑦ 主電源スイッチ (24 ページ)

⑧ 音声出力端子 (19 ページ)

⑨ リモート入力端子 (ステレオミニジャック) (19 ページ)

⑩ LAN 端子 (19 ページ)

各部の名前

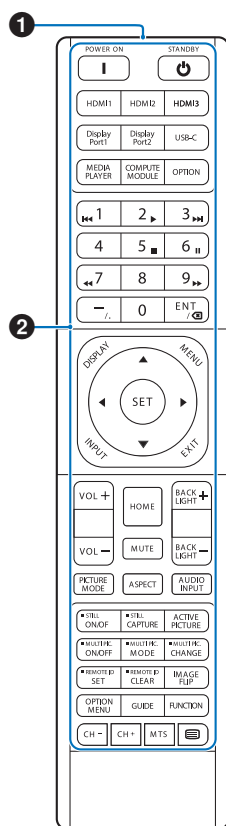
- ⑪ DisplayPort 入力端子 (20 ページ)
- ⑫ HDMI1/2 入力端子 (HDMI1 (ARC) /HDMI2) (20 ページ)
- ⑬ USB Type-A 端子 (20 ページ)
- ⑭ RS-232C 入力端子 (20 ページ)
- ⑮ VGA(RGB) 入力端子 (ミニ D-sub 15 ピン) (20 ページ)

- ⑯ 通風孔
- ⑰ ラベル
- ⑱ セキュリティースロット

セキュリティースロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。

- ⑲ スピーカー

■ リモコン



- ① 発信部
- ② 操作ボタン (27 ページ)

設置について

お客様へ

設置業者の紹介につきましては、販売店へご相談ください。壁掛けや天吊り設置に関する設置業者との契約につきましてはお客様の責任においてご契約ください。

設置後のメンテナンス

- ・ ねじのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
- ・ 環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをしてください。

ご注意

- ・ 本体のパネル表面にガラスやアクリル製の保護カバーをかぶせると、パネル表面が密閉され内部温度が上昇します。コンピューターのパワーマネジメント機能を利用したり、ディスプレイの輝度を低くするなどして内部温度の上昇を防いでください。

設置業者様へ

SHARP 販売店、設置業者の方は、「設置時の注意事項（ご販売店・設置業者様用）」をご確認ください（76 ページ）。

壁や天井に本機を設置する際には、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に取り付けてください。

本機の質量は「製品仕様」を参照ください。

誤った設置、改造、自然災害による損傷につきましては、保証の対象範囲外です。

以上の推奨事項に従わなかった場合、保証書は無効になることがあります。

通風孔を取付金具などの器具でふさがないようにご注意ください。

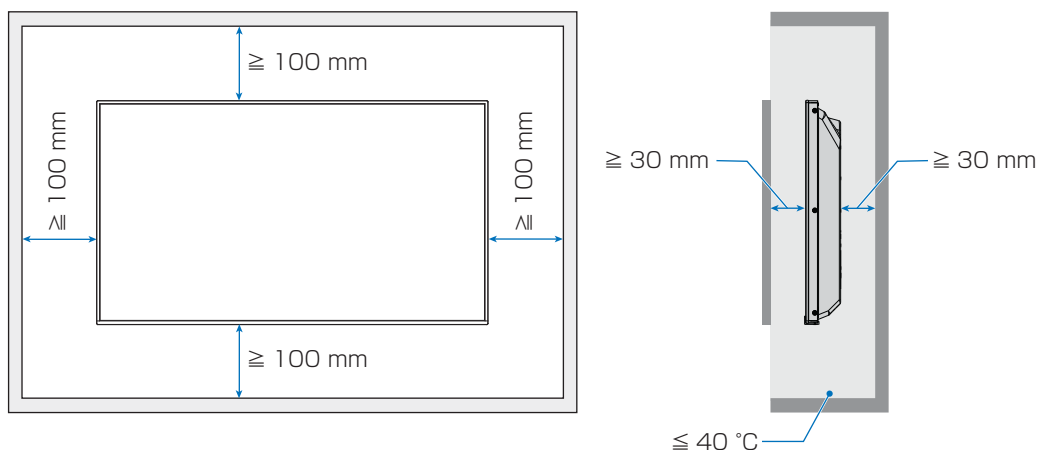
設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

■ 据付条件

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所（壁埋め込みなど）に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。

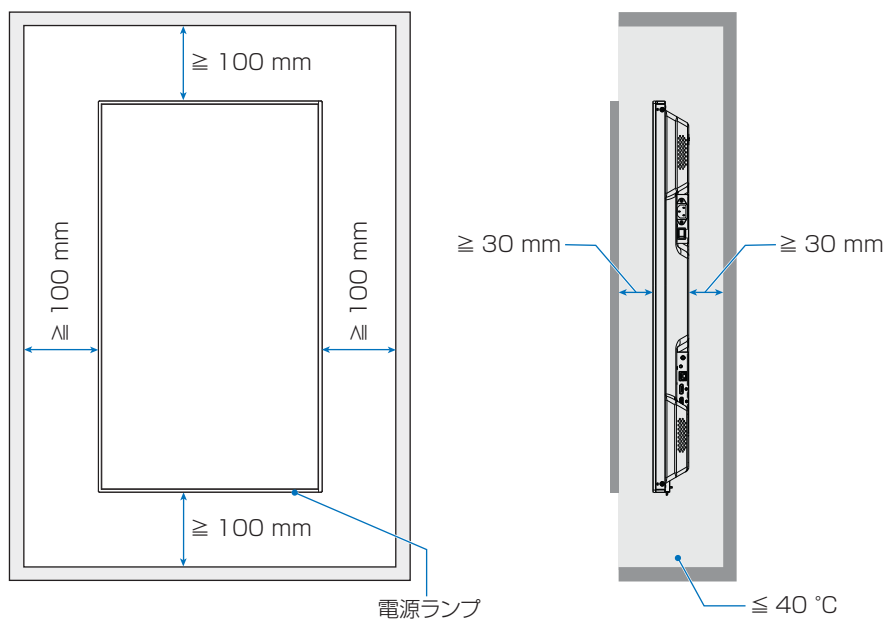
- ・ 本機の使用环境温度の範囲は 0 ～ 40 ℃ です。
- ・ 別売品取り付け時の周囲温度は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると周囲温度が変わる場合があります。

横長で使用する場合



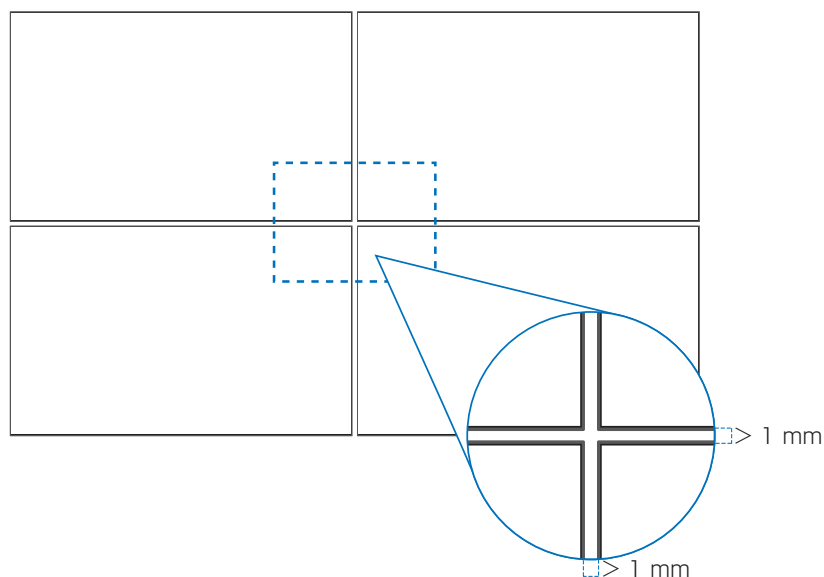
設置について

縦長で使用する場合



ご注意

- 内部温度が高温になると「警告」が表示されます。「警告」が表示されたら本機の使用を中止して電源を切り、温度が下がるのを待ってください。
- 本機をケースなどの中でお使いの場合、あるいは液晶パネルの表面をアクリル板などで覆っている場合は、本機の周囲温度をチェックしてください。周囲温度が本機の動作温度を上回ったときは本機の使用を中止して電源を切り、温度が下がるのを待ってください。
- ディスプレイをマルチスクリーン構成で設置し長時間使用した場合、本機の内部温度の変化によりディスプレイが若干膨張することがあります。隣り合うディスプレイとの間に 1 mm 以上の隙間をあけて設置されることをおすすめします。

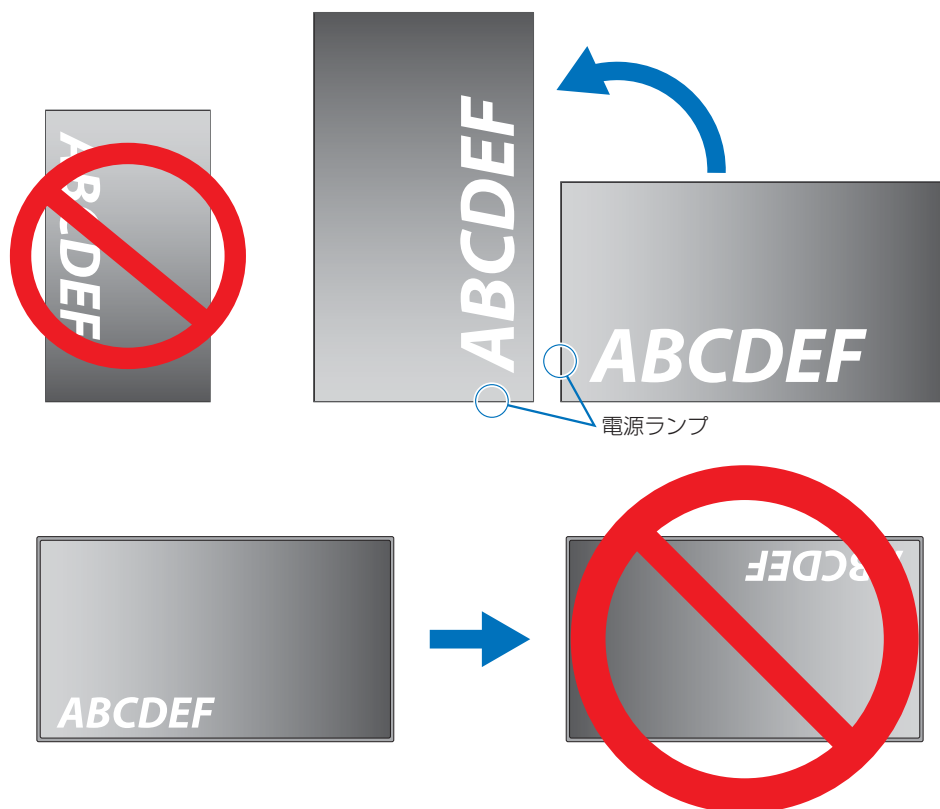


■ 取り付け向きについて

本機を縦型設置で使用するときは、必ず正面から見て右側面を上側に、左側面が下になるよう反時計回りに回転してください。

誤った向きに設置すると、本体内部に熱がこもることがありディスプレイの寿命が縮む可能性があります。

上下逆さまでの設置はできません。

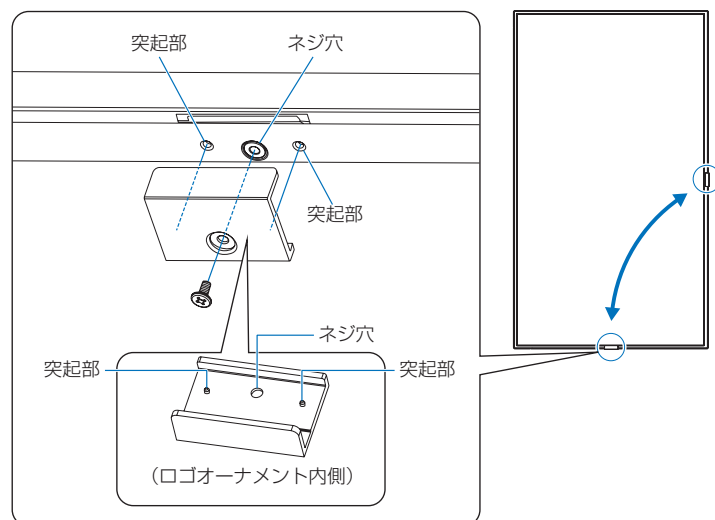


設置について

■ ロゴオーナメント位置の変更

取り外し方法：

ロゴオーナメントを固定しているネジを外し、ロゴオーナメントを取り外します。



取り付け方法：

ネジで固定する際はロゴオーナメント内側の突起部分をディスプレイ側面にある小さい穴に合わせます。ロゴオーナメントのネジ穴とディスプレイ側面にあるネジ穴が合っていることを確認し、ネジをまっすぐ取り付けてください。

(締付トルク 30 ～ 40N・cm)

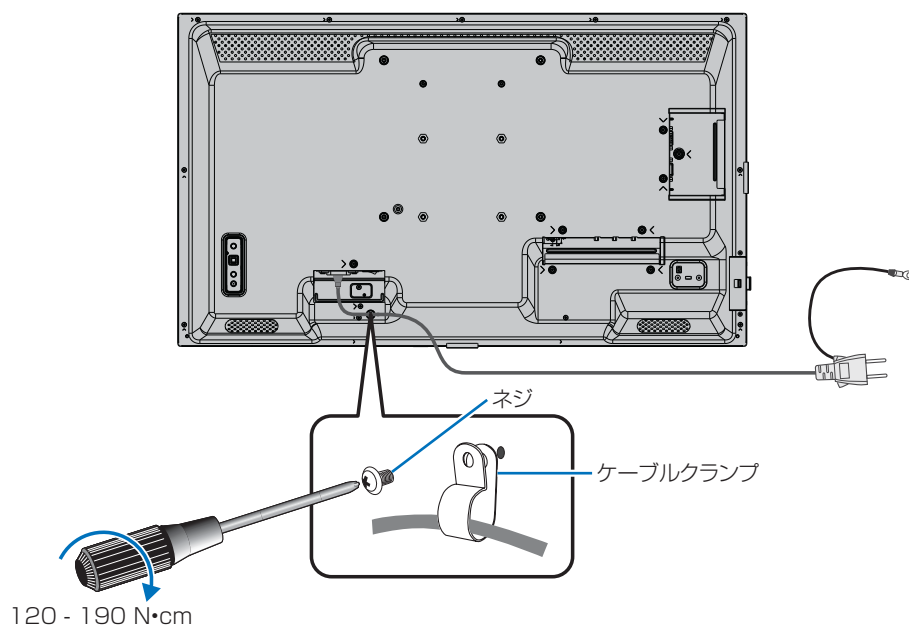
お願い

- ・ 取り外したネジ以外は使用しないでください。

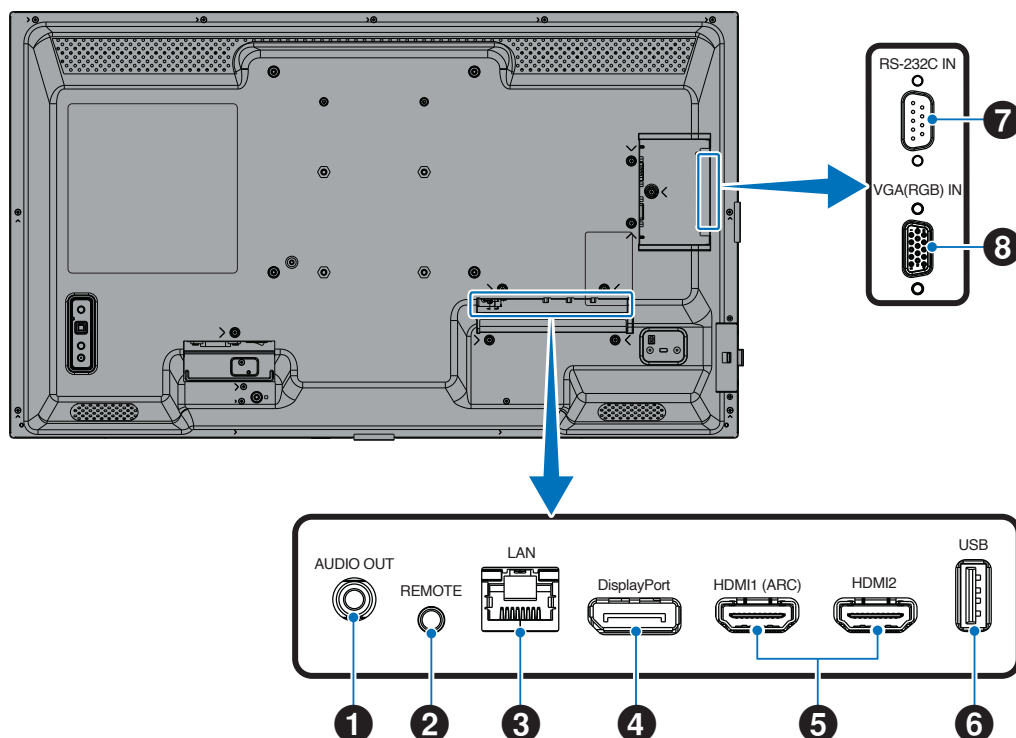
■ 電源コードをクランプで固定する

電源コード（付属）は、必ず固定部に付属のケーブルクランプで固定してください。

固定するときは、電源コード（付属）の端子部分に力が加わらないようにしてください。また電源コード（付属）を無理に曲げないようにしてください。



機器の接続



ご注意

- コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
- それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。
- USB メモリーは本機の主電源がオフのときに抜き差しすることをおすすめします。
- USB メモリーは必要に応じてウイルスチェックを実施してください。

① 音声出力端子

選択されている音声を出力します。

ご注意

- ヘッドホン用端子ではありません。

② リモート入力端子 (ステレオミニジャック)

本端子に別売のコントロールキットのセンサーユニットを接続すると、センサーユニット上のリモコン受光部を利用してリモコンで制御できます。

ご注意

- 指定のもの以外は使用しないでください。

ご参考

- センサーユニットを接続した場合、本機のリモコン受光部は動作しません。
- 本機に付属しているリモコンを使って操作してください。

③ LAN 端子 (RJ-45)

市販の LAN ケーブルを使ってネットワークに接続します。ネットワーク経由で、本機をネットワーク上のコンピューターから制御することができます。

機器の接続

④ DisplayPort 入力端子

デジタル映像インターフェースの DisplayPort 出力端子と接続します。

⑤ HDMI 入力端子 (HDMI IN1 (ARC) /HDMI IN2)

デジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。

HDMI 1 (ARC):

HDMI 1 端子は ARC (オーディオリターンチャンネル) 機能に対応しています。ARC に対応した HDMI ケーブルを接続してください。

HDMI 2:

ご参考

- 付属の ARC 対応 HDMI ケーブル 1 本で、本機の音声を AV アンプなど ARC 対応のオーディオ機器から出力することができます。付属のリモコンを使用してオーディオ機器の音声などを調節することができます。
- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。4K 信号を入力するときはハイスピード対応の HDMI ケーブルをご使用ください。
- 本機の映像入力機能は HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection) で保護された映像コンテンツに対応しています。HDCP の規格が変更された場合など、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。
- HDMI の仕様により、お使いの HDMI ケーブルや HDMI 機器では映像を正しく表示することができない場合があります。
- 対応信号は仕様 (74 ページ) を参照ください。

⑥ USB Type-A 端子

USB 2.0 準拠。

電源供給: 5 V/2 A

電源供給用としても使えます。

メディアプレーヤーで再生する USB メモリーを接続します。

ご注意

- USB ケーブルを束ねないでください。過熱や火災の原因となります。
- USB ケーブルの端子形状および向きをよく確かめてから接続してください。
- 本機の電源がオンのときに USB メモリーを本機に接続 / 取り外ししないでください。本機の故障やデバイスに保存されたファイルの破損を避けるために、本機の電源がオフのときにデバイスの接続 / 取り外しをすることをおすすめします。

ご参考

- 本機に接続した USB メモリーが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。使用する USB メモリーは、NTFS/FAT16/FAT32 形式フォーマットにしてください。フォーマット方法については、お使いのコンピュータの取扱説明書またはヘルプファイルを参照ください。
- 市販されているすべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- 接続したすべての機器に電源の供給を保証するものではありません。接続した機器の取扱説明書で供給に必要な条件を確認してください。

⑦ RS-232C 入力端子 (D-sub 9 ピン)

コンピューターを接続します。詳細は本取扱説明書の「RS-232C 経由でのディスプレイ制御」を参照ください。

⑧ VGA (RGB) 入力端子 (ミニ D-sub 15 ピン)

アナログ出力のコンピューターの映像出力コネクタと接続します。

注意

付属のケーブルを使用してください。

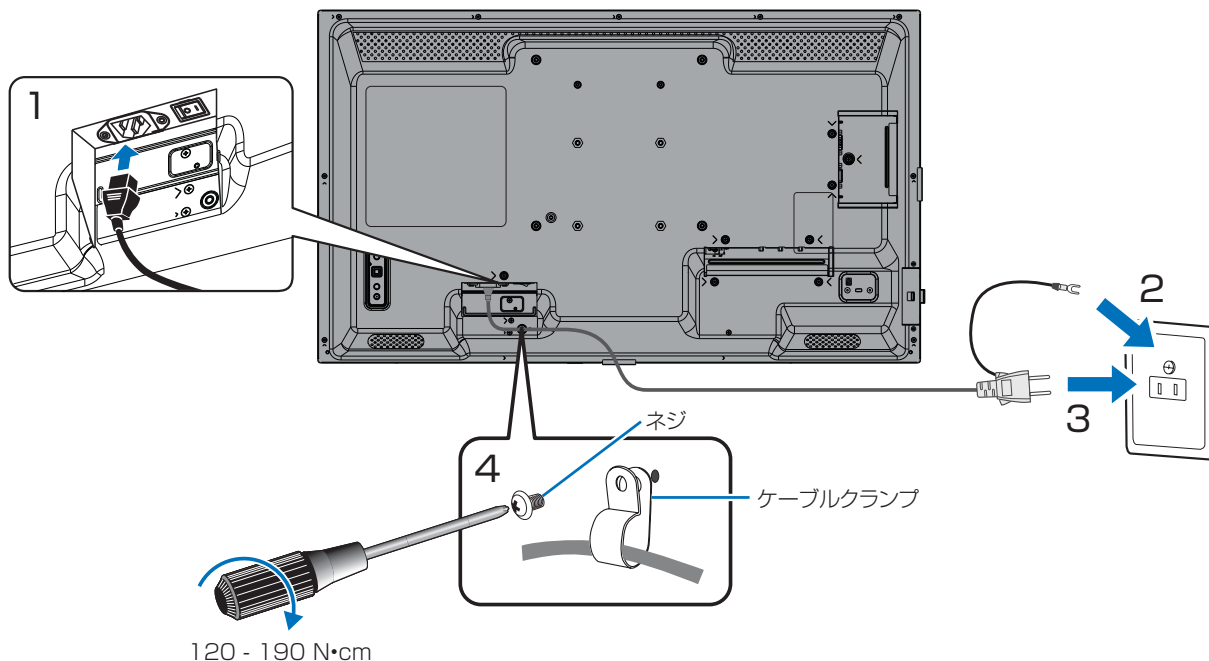
HDMI 入力端子、DisplayPort 入力端子、USB Type-A 端子、RS-232C 入力端子、D-sub 入力端子はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

ご注意

- 本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルを抜き差ししないでください。
- 接続するオーディオ機器端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用してください。抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。

電源の接続

1. 電源コード(付属)を電源接続端子に差し込む。
2. 電源コード(付属)のアース線を(アースに)接続する。
3. 電源コード(付属)のプラグをコンセントに差し込む。
4. 電源コード(付属)をケーブルクランプで固定する。



ご注意

- 電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電力が供給されることを確認してください。本機の使用電源は「製品仕様」を参照ください。
- 電源コードは本機に接続してから電源コンセントに接続してください。

ご参考

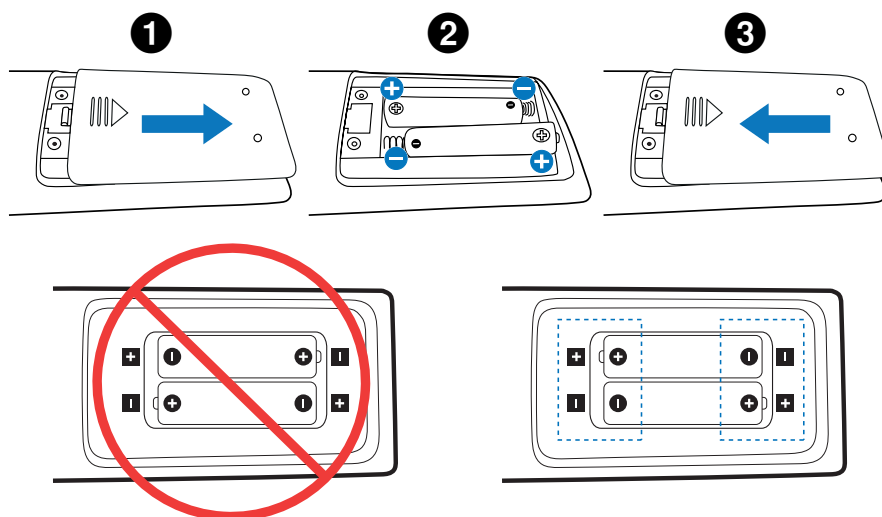
- AC200 V (50/60 Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード (QACCJ1093MPPZ) を使用してください。
- 電源コード (付属) は、必ず付属のケーブルクランプで固定してください。固定するときは、電源コード (付属) の端子部分に力が加わらないようにしてください。また電源コード (付属) を無理に曲げないようにしてください。

リモコンの準備

電池の入れかた

単 4 形乾電池 2 つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。



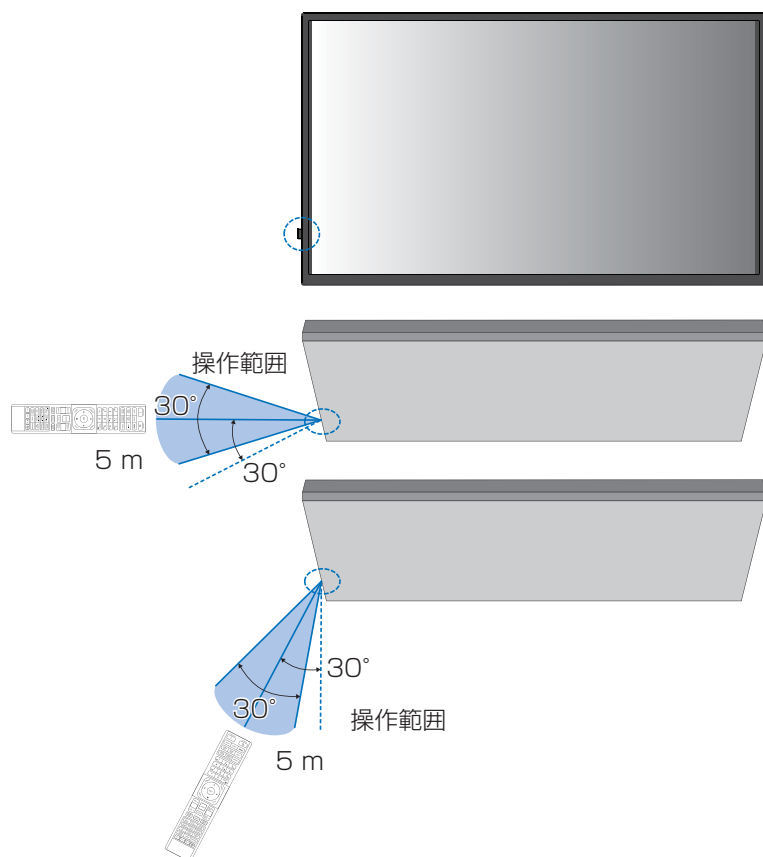
ご参考

- リモコンに付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管してください。
- 電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。

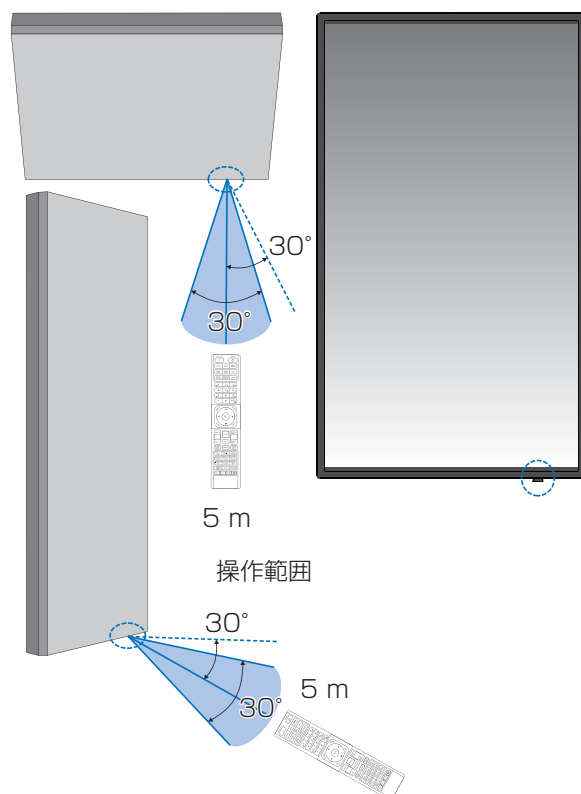
リモコンで操作できる範囲

リモコンの操作をするときは本機のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。

横型設置時のリモコン操作範囲



縦型設置時のリモコン操作範囲



リモコンの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- 熱やスチームなどにあてないでください。
- 電池を廃棄する際は、お買いあげの販売店、または自治体にお問い合わせください。
- 電池交換のとき以外はリモコンのふたを開けないでください。

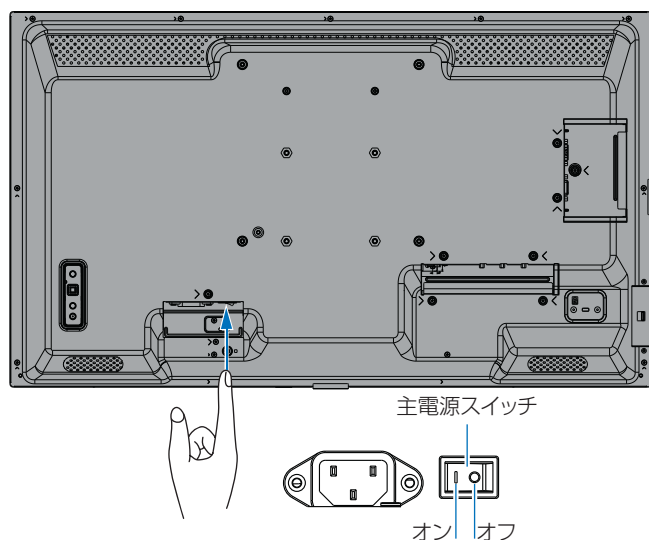
ご注意

- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- 誤動作防止のために、エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
- 他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、リモコンの識別 ID (リモコン ID) を設定するなどして誤動作を防止してください。

電源の入／切

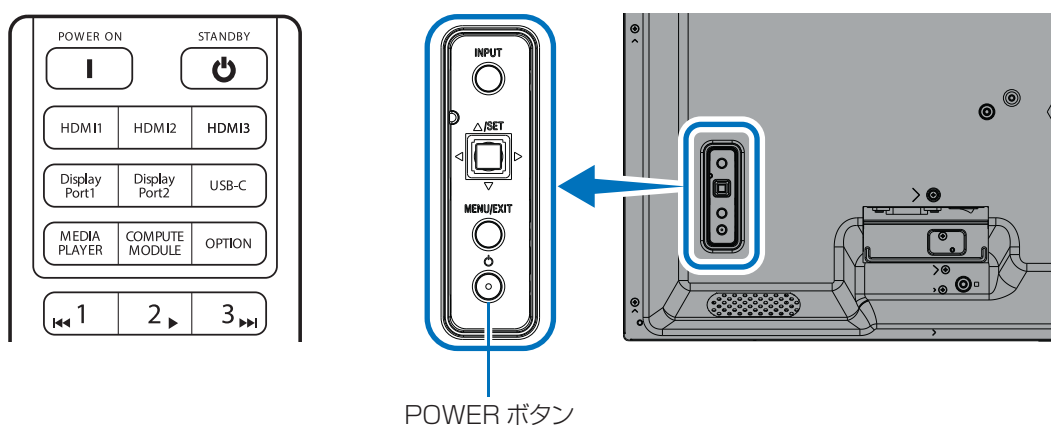
主電源を入れる

主電源スイッチがオン（）になっていることを確認してください。



電源を入れる

主電源の切／入は、主電源スイッチでおこなってください。主電源が「切」の場合、電源を入れることはできません。本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の電源を入れてください。



■ 初回電源投入後の操作

初めて電源を入ると、スタート画面が表示されます。リモコンの ▲/▼ ボタンで「スタート」を選択し、SET ボタンを押してください。表示される画面に従って、言語や日付などを設定してください。

電源を切る

1. 本体のPOWERボタンを押す、またはリモコンのSTANDBYボタンを押します。

電源が切れます。(スタンバイ状態)

電源オンモードと電源オフモード

POWER ボタンを押して本機をオンにします。

本体の電源ランプが、電源の状態を示します。電源ランプと本機の状態とその復帰方法については、以下の表を参照ください。

電源ランプ色と点灯パターン	状態		復帰方法
青色点灯	電源「入」	通常動作時	
緑色点滅 ^{*1}	入力信号待機状態	選択している映像信号がない状態で一定時間 ^{*2} 経過した場合で、以下の状態のどれかを満たしたとき： 「自動入力切替」（OSD 機能）が「オフ」以外になっている場合 「USB 電源」が「オン」になっている場合 「クイック起動」が「許可」になっている場合	1. リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。 2. 映像信号を入力する。 3. 信号ケーブルを再接続する。
橙色点灯 ^{*1} （ネットワークスタンバイモード）		緑色点滅の条件に該当せず、選択している映像信号がない状態で一定時間 ^{*2} 経過した場合で、以下の状態のどれかを満たしたとき： - ネットワーク信号があり、「外部制御端子」が「LAN」になっている場合 「CEC」が「オフ」以外になっている場合 「オフタイマー」が「オン」になっている場合 - スケジュール機能を設定している場合	1. リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。 2. 映像信号を入力する。 ^{*3} 3. 信号ケーブルを再接続する。
橙色点滅 ^{*1} （スタンバイモード）		緑色点滅の条件に該当せず、選択している映像信号がない状態で一定時間 ^{*2} 経過した場合、または「外部制御端子」が「RS-232C」になっている場合	
赤色点灯	電源「切」	ネットワーク機器や映像信号機器との接続状態に関わらず、リモコンなどで本機をオフした場合	1. リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。

^{*1}: 「パワーセーブ設定」が「許可」になっている場合。

^{*2}: 本機がパワーセーブに移行する時間は、OSDメニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」→「時間設定」で設定できます。

^{*3}: HDMIまたはDisplayPort入力で、「パワーセーブ設定」の「モード」が「通常省電力」([42ページ](#))になっている場合のみ。

ご参考

- 通常動作時は青色に点灯します。電源ランプを消灯したい場合は「システム」→「電源ランプ」で「オフ」を設定してください。

ご注意

- 電源ランプが短い点灯と長い点灯の組み合わせで赤色に点滅した場合は故障の可能性があります。販売店へお問い合わせください。
- ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。
- 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。ただし、長時間同じ画像を表示し続けると、消えない場合があります。本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。
 - 使用していないときは本機の主電源を切ってください。
 - 本体の POWER ボタンまたはリモコンのSTANDBYボタンで本機をスタンバイ状態にしてください。
 - OSDメニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」を使用してください。信号が入力されないときに自動的にパワーセーブモードに切り替わります。
 - OSDメニューの「スケジュール」を使用して、使用する時間に合わせて自動的に電源をオンまたはスタンバイ状態にしてください。

パワーマネージメント機能

本機の主電源を入れたままでも、コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

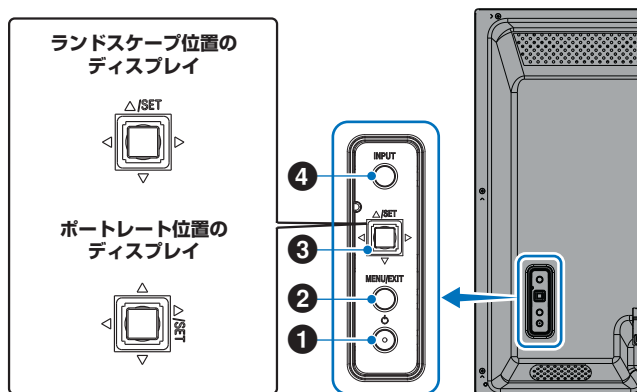
ビデオカードによっては正しく動作しない場合があります。OSDメニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」→「パワーセーブ」を「許可」にした場合、入力信号が失われてから設定した時間が経過すると、自動的にパワーマネージメント機能に入ります。

ご参考

- お使いのコンピューターやビデオカードによっては、パワーマネージメント機能が働かないことがあります。
- 映像信号が途絶えると、設定した時間の経過後ディスプレイは自動的にオフになります。
- 本機の電源オンおよびスタンバイ状態へ移行するまでのスケジュール ([50 ページ](#)) を設定することができます。
- パワーマネージメント機能に関しては「保護設定」→「パワーセーブ設定」を参照ください。

基本的な操作

ボタン/キーで操作する



① Power ボタン (電源ボタン)

電源をオン/スタンバイするときに押します。オンの時に2回押すとスタンバイに切り替わります。

② MENU/EXIT ボタン

OSD 画面が表示されていないときに押すと、OSD 画面を表示します。

OSD 画面が表示されているときは、ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

③ Joystick キー /SET ボタン *3

◀/▶ : 左右方向に移動します。

- OSDコントロールメニューを左または右に移動します。
- OSDメニューの設定値を増減させます。
- OSDメニューを閉じているときは音量が調節できます。

▽/△ : 上下方向に移動します。

- OSDコントロールメニューを上または下に移動します。

SET: (ボタン押下)

- OSDメニューを選択したり、実行します。

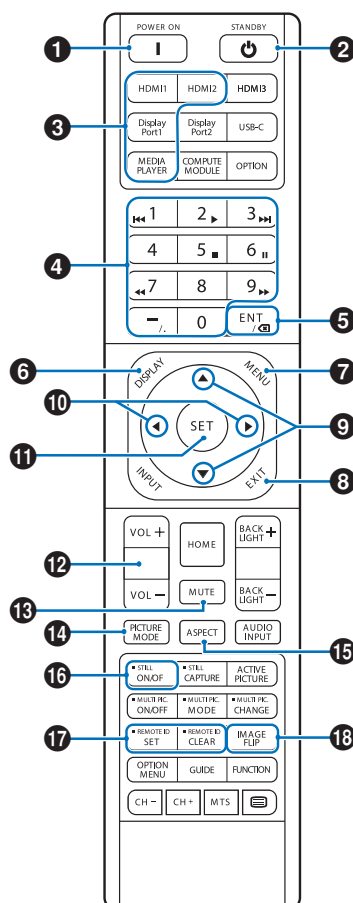
*3: ◀、▶、△、▽ の機能は、ディスプレイの向き (ランドスケープポートレート) によって変化します。

④ INPUT ボタン (入力切替ボタン)

INPUT: 以下の映像入力を切り替えます。

[DisplayPort]、[HDMI1]、[HDMI2]、
[VGA(RGB)]、[Media Player]。名称は工場出荷時のものです。

リモコンで操作する



- 説明のないボタンは動作しません。
- 一部のボタンは HDMI-CEC 機器の操作に使用します (CEC(Consumer Electronics Control))。「CEC」の設定により対応するボタンは異なります。34 ページを参照ください。
- OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」で「IR」をロックした場合、DISPLAY ボタンを 5 秒以上押し続けるとロックを解除できます (54 ページ)。

① POWER

電源をオンにします。

② STANDBY

ディスプレイをスタンバイ状態にします (25 ページ)。

③ 入力切替

入力信号を選択します。

入力信号の名称は工場出荷時のものです。

ご参考

- RGB(VGA) は、INPUT ボタンを押して入力切替メニューを表示して切り替えます。

基本的な操作

④ 数字入力ボタン

セキュリティー設定のパスワードやリモコン ID の番号入力 (56 ページ) に使用します。

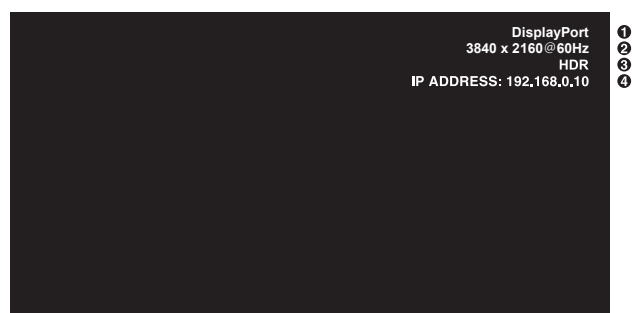
一部の数字ボタンを本機に接続した HDMI-CEC 機器の操作に使用します。

⑤ ENT ボタン

CEC 機器の操作に使用します。詳細は「CEC」(34 ページ) を参照ください。

⑥ DISPLAY

選択されている映像入力端子などの情報を表示します。



- ① 入力名称
- ② 解像度情報
- ③ HDR 情報
- ④ IP アドレス *

* 「IP 情報」が「オン」の場合：
緑表示 - LAN 接続時
赤表示 - LAN 非接続時

お知らせ

- ・ 入力信号が [Media Player] の場合、インフォメーション OSD は表示されません。

⑦ MENU

OSD 画面の表示をオン / オフします (31 ページ)。

⑧ EXIT

ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

⑨ ▲/▼ (上 / 下)

OSD 画面の調節項目の選択、OSD 画面の表示位置の調節に使用します。

⑩ ◀/▶ (左 / 右)

OSD 画面で選択した項目の調節、OSD 画面の表示位置の調節に使用します。

⑪ SET

OSD 画面で調節した内容を決定します。

⑫ VOL + / - (音量調節)

音量の大 / 小を調節します。

⑬ MUTE

音声や映像の出力をとめます。

もう一度押すと音声や映像を出力します。
詳細は「ミュート設定 *1」(46 ページ) を参照ください。

⑭ PICTURE MODE

ピクチャーモードを選択します。

「標準」、「店舗」、「会議室」、「高輝度」、「交通機関」、「CUSTOM」から選択できます。35 ページ。

ピクチャーモード	目的
標準	標準の映像設定
店舗	サイネージ、ブランディングに適した映像設定
会議室	テレビ会議等に適した映像設定
高輝度	外光の明るい環境に適した映像設定
交通機関	公共施設等の設置に適した映像設定
CUSTOM	任意の設定

ご参考

- ・ OSD メニューの「ピクチャーモード」で設定した内容は、現在選択されている「入力」に対し保存されます。

⑮ ASPECT

画像のアスペクトを「標準」、「フル」、「ワイド」、「1:1」、「ズーム」から選択します (30 ページ)。

お知らせ

- ・ 入力信号が [Media Player] の場合は動作しません。

⑯ STILL (画面静止)

ON/OFF ボタン： スチル機能をオン / オフします。

⑰ REMOTE ID (リモコン ID)

リモコンのモードを切り替えます。詳細は「リモコン ID モード機能について」(56 ページ) を参照ください。

ノーマルモード： モニター ID の設定に関係なく、ディスプレイをリモコン制御できます。

ID モード： リモコン ID と同じ番号のモニター ID を持つディスプレイのみをリモコンで制御できます。

SET ボタン： ボタンを押しながら 0 ~ 100 までの数字を入力すると、リモコン ID が設定できます。

CLEAR ボタン： 5 秒以上押し続けると、ノーマルモードになります。

18 IMAGE FLIP（映像反転）

画像を 180°回転することができます。
映像反転については [39 ページ](#)を参照ください。

基本的な操作

■ アスペクト変更について

OSD メニューの「映像設定」→「アドバンスド」→「アスペクト」またはリモコンの ASPECT ボタンで画面のアスペクトを選択することができます。

お知らせ

- 入力信号が[Media Player]の場合は動作しません。

「フル」→「ワイド」→「1:1」→「ZOOM」→「標準」

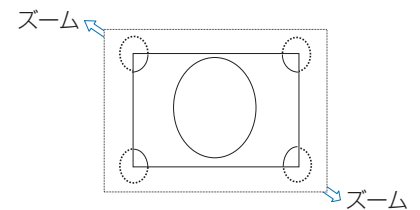


画面のアスペクト	変更前 *3	推奨されるアスペクト設定 *2	説明
4:3		「標準」	 比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。
スクイーズ		「フル」	 比率を変えて、画面いっぱいに表示します。
レターボックス		「ワイド」	 16:9 レターボックス信号を画面いっぱいに表示します。

*3: 図の灰色の部分は画像表示に使用されない領域です。

「1:1」: 画像サイズそのまま表示します。

「ズーム」: 画像は、画面の有効表示領域を超えて拡大されます。有効表示領域を超えた部分は見ることができません。



ご参考

- もとの信号と異なる画面のアスペクトで使用したいときは画面に歪みが発生します。
例) 4:3 信号をフルにした場合は横長画面となります。

ご注意

- 営利目的または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテルなどにおいてアスペクト変更等を利用して画面を圧縮したり引き伸ばすと著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意願います。

各種設定メニュー

メニューの基本操作

本機には画面の調節が簡単にできる OSD（On Screen Display）機能がついています。
OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節などを設定します。
各項目の詳細は、[33 ページ](#)をご覧ください。

■ メニューの見かた

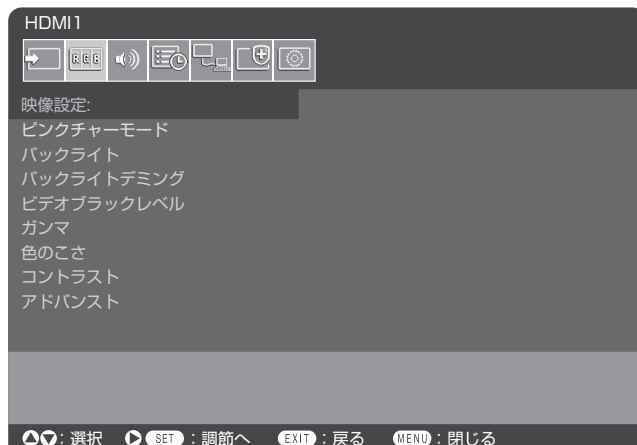
OSD 画面の構成 OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。



■ 操作例

映像調節メニューの「ピクチャーモード」を調節する。

1. MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示する。



2. ▲または▼ボタンで「映像設定」を選び、SET ボタンを押す。

各種設定メニュー

3. ▲または▼ボタンで設定項目「ピクチャーモード」を選択する。



4. ►ボタンで「標準」を選択し、SETボタンを押す。

5. MENU ボタンを押し、メニュー画面を閉じる。

ご注意

- ・ 約 3 分間操作しないと、メニュー画面は自動的に閉じます。

以下に、各 OSD メニュー項目の機能を簡単に示します。メニュー内容の詳細は [33 ページ](#) 示されています。



入力：入力信号、Media Player に関する設定をおこないます。



映像設定：規定のピクチャーモードの選択、色設定の手動調節、アスペクト比調節など、映像に関する設定をおこないます。



音声設定：音量やバランス、イコライザーの調節など、音声に関する設定をおこないます。



スケジュール：本機の電源制御のスケジュール作成およびオフタイマーの設定をおこないます。



ネットワーク：ネットワーク情報、セキュリティなどに関する設定をおこないます。



保護設定：パワーセーブおよび電源オンへの移行時間設定、アラートメールなどに関する設定をおこないます。



システム：モニターインフォメーション表示、日付時刻や言語などの設定およびサマータイムの設定、工場出荷時状態へのリセットをおこないます。

メニュー項目の詳細

■ 入力

入力選択*5

入力信号を選択します。
「DisplayPort」、「HDMI1」、「HDMI2」、「VGA(RGB)」、「Media Player」

入力設定

入力名称*5

現在表示中の入力端子名称を変更できます。最大文字数は14文字です。

1. 名称フィールドにカーソルを合わせ、SETボタンを押します。
2. ◀/▶ボタンで変更したい文字にカーソルを移動し、▼/▲ボタンでアルファベット、数字、一部の記号、スペースを切り替えます。
3. SETボタンを押して確定します。
4. 最後にEXITボタンを押すと入力した名称が保存されます。

名称リセット*5

「実行」でSETボタンを押すと現在の入力端子名称が工場出荷状態に戻ります。

自動入力切替*1, *3, *4

複数の入力がある場合に、入力信号がある端子に自動的に切り替える機能です。
選択されている端子はリモコンのDISPLAY ボタンを押すとインフォメーションOSD に表示されます。

ご参考

- ・「自動入力切替」の動作時に「人感センサー」を実行すると「自動入力切替」は解除されます。
- オフ 入力端子を手動で切替えます。
- FIRST DETECT*2 現在表示している端子の入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。
現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合は、表示は切り替えません。
- LAST DETECT*2 現在表示している端子の入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。
現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合は、表示を切り替えます。
- CUSTOM DETECT 入力信号を自動で切り替えるときの優先順位を設定できます。

ご参考

- ・「CUSTOM DETECT」を選択すると、「優先順位」を設定していない入力信号には切り替えられません。（切り替えても「優先順位」に設定されている入力に変わります。）
- ・Media Player 入力端子は USB メモリーが接続されている場合のみ動作します。

アドバンス

入力信号設定

HDMI*5

HDMIモード

HDMI モード (バージョン)「設定1」または「設定2」を選択します。

設定1: 最大解像度3840x2160(30 Hz)

設定2: 最大解像度3840x2160(60 Hz); HDCP 2.2、HDRに対応

各種設定メニュー

Media Player*5

メディアプレーヤーの自動再生を設定します。

- オフ: 自動再生しません。
- 写真: 写真(静止画)ファイルを自動的に再生します。
- 音楽: 音楽ファイルを自動的に再生します。
- 動画: 動画ファイルを自動的に再生します。

「オフ」以外を設定すると、以下のような場合にUSBメモリーに保存した「AUTO_PLAY」フォルダー内のファイルを自動的に再生することができます。

- ・「Media Player」を入力信号に設定した状態で電源オフ、オンした場合。
- ・「入力選択」で「Media Player」を設定した場合。

ご参考

- ・再生する順番は、ファイル名により決定されます。優先順位は、1. ファイル名の数字(昇順)、2. アルファベット(昇順)です。
- ・「自動入力切替」と合わせて使用すると、入力信号がなくなった際「Media Player」に切り替わり、選択したファイルを自動的に再生することができます。

オーバースキャン*3、*5

画像表示エリアを選択します。

- オン: 入力信号の約95%を表示します。
- オフ: 入力信号のほぼ100%を表示します。信号によっては、画面の端にノイズが出ることがあります。
- 自動: 入力画像表示エリアを自動設定します。

ご参考

- ・「スクリーンセーバー」の「モーション」が設定されていると、この機能は操作しません。
- ・HDMI出力に対応したコンピューターと接続して使用する場合は、「オフ」にしてください。

ビデオレンジ*2、*3、*4、*5

表示する階調範囲を映像信号にあわせ、映像の白飛びや黒浮きを改善します。

- 自動: 映像信号を検出し「ノーマル」と「エキスパンド」を自動的に切り替えます。通常はこちらを選択してください。
- ノーマル: コンピューター用の設定です。入力信号の0～255階調をすべて表示します。
- エキスパンド: AV機器用の設定です。入力信号の16～235階調を0～255階調に拡張して表示します。

ご参考

- ・接続している機器によっては階調が正しく表示されないことがあります。その場合は手動で「ノーマル」または「エキスパンド」に設定を変更してください。

CEC

HDMI-CEC対応機器を本機に接続する場合に設定します。
CECはConsumer Electronics Controlの略称です。

CEC

- 「オフ」、「設定1」、「設定2」から設定します。
- 「設定1」または「設定2」を選択するとHDMI入力端子に接続したHDMI-CEC対応機器をリモコンで操作することができます。また、対応機器をスタンバイ状態から起動させたとき、本機も連動してスタンバイ状態から電源をオンします。「設定1」または「設定2」を選択した場合、以下の項目を設定します。

ご参考

- ・「設定1」または「設定2」を選択すると以下の動作を実行します。接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。
 - HDMI入力端子に接続しているHDMI-CEC対応機器を再生すると、本機の電源が連動してオンし入力信号をHDMIに切り替えます。本機の電源がオンの場合は、入力信号をHDMIに切り替えます。
 - リモコンでHDMI入力端子に接続しているHDMI-CEC対応機器を操作することができます。
 - 対応するリモコンボタンは以下になります。
 - 設定1:
1、2、3、5、6、ENT、EXIT、▲、▼、◀、▶、MUTE、VOL+、VOL-
 - 設定2:
0～9、数字ボタンの-、ENT、EXIT、▲、▼、◀、▶、GUIDE、MUTE、SET、VOL+、VOL-、CH+、CH-

自動電源オフ

「する」、「しない」から設定します。「する」を選択すると、本機をリモコンのSTANDBY ボタンまたは本体の Power ボタンでスタンバイ状態にしたときに接続しているHDMI-CEC 対応機器の状態も連動してスタンバイ状態にします。

ご参考

- 接続している HDMI-CEC 対応機器が録画など作動中の場合は本機の状態に連動しない場合があります。

オーディオレシーバー

ARC対応オーディオ機器を接続する場合、付属の ARC対応HDMIケーブルを使用して本機のHDMI 1 (ARC)端子に接続してください。

許可: 接続した ARC対応オーディオ機器から音声を出力し、本機内蔵のスピーカーはミュート(消音)になります。

禁止: 本機内蔵のスピーカーから音声を出力し、接続しているARC対応オーディオ機器の音声はミュート(消音)になります。

ご参考

- オーディオレシーバーの設定を切り替えると音声が出力されるまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

デバイス検索

本体のHDMI コネクターに接続されているHDMI-CEC 対応機器を検索します。

「デバイス検索」を選択すると接続されているHDMI-CEC 対応機器を検索し、その種類と登録名称を表示します。

検索後に表示されるデバイスを選択することで入力を切り替えることができます。

ご参考

- 検出されたデバイスの種類と登録名がすべて表示されない場合があります。その場合は、表示されているデバイスの種類と登録名の両方から接続機器を判断してください。

シグナルフォーマット*3, *4, *5

HDMI/DisplayPort入力時、信号の種類をRGBと色差から選択できます。通常は「自動」を選択してください。

ご参考

- 接続している機器によっては色が正しく表示されないことがあります。その場合は手動で「自動」以外に設定を変更してください。

サイドパネル*2, *5

映像のない部分の色を調節します。

- ▶ ボタンを押すと、白く(明るく)なり、◀ ボタンを押すと、黒く(暗く)なります。

リセット*5

「入力名称」、「自動入力切替」以外の入力の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

*1: 機器によっては正しく検出できない場合があります。

*2: 「Media Player」を除く。

*3: 「VGA(RGB)」を除く。

*4: YPbPr信号のみ。

*5: 「OSD 方向」が「ランドスケープ」のときのみ表示され、設定できます。

■ 映像設定

ピクチャーモード

使用する環境に適した映像設定にしたり、任意の設定ができます(51ページを参照してください)。

バックライト

画像の明るさをバックライトで設定します。

- ▶ ボタンと ◀ ボタンで画面をお好みの明るさに設定してください。通常の明るさ調節にはこちらをお使いください。

ご参考

- 「外光センサー」で「設定 1」または「設定 2」が選択されている場合は設定は無効となります。

バックライトデミング

(本機は動作しません)

各種設定メニュー

ビデオブラックレベル

画面の黒レベルを設定します。

ガンマ*5

グレーなど、中間色の明るさを設定します。

NATIVE	ガンマ補正をオフし、液晶パネルの階調特性で表示します。
2.2	コンピューターで一般的な特性です。
2.4	DVD や Blu-ray などビデオ機器で一般的な特性です。
S GAMMA	暗い部分をより暗く、明るい部分をより明るく表示します。画像の明暗が強調されるため映画などに適します。
DICOM SIM	医療業界で用いられるDICOM に近似したガンマ調節値に設定します。実際の診断には使用しないでください。
PROGRAMMABLE 1, 2, 3	対応するアプリケーションから詳細なガンマ特性を設定できます。

色のこさ*5

色のこさ*4 色のこさを設定します。
▶ ボタンを押すと濃くなり、◀ ボタンを押すと薄くなります。

色温度 白色の色温度を設定します。
色温度が低くなると画面が赤っぽくなり、高くなると画面が青っぽくなります。さらに細かい設定をする場合、R/G/Bゲインをそれぞれ変更できます。

ご参考

- ・「ガンマ」で「PROGRAMMABLE1」、「PROGRAMMABLE2」または「PROGRAMMABLE3」が選択されている場合は動作しません。

カラーコントロール ... 指定の色の色相を設定します。例えば赤色を黄色もしくは紫色に変化させることができます。

コントラスト*4, *5

コントラストを設定します。
▶ ボタンと ◀ ボタンで画面をお好みのコントラストに設定してください。

画面調節*5 (VGA(RGB)入力の場合のみ)

オートセットアップ

画面の水平／垂直位置、クロック周波数、位相、ホワイトレベルを自動的に調節します。

オートアジャスト

「オン」を選択すると、新規タイミング検出時に「水平位置」／「垂直位置」、「位相」を自動的に調節します。

ご参考

ビデオカードまたはドライバーによっては正しく調節されない場合があります。その場合は「オートセットアップ」をおこなうか、「水平位置」、「垂直位置」、「クロック周波数」、「位相」を個別に調節してください。
「オートアジャスト」を「オン」に設定して、たびたび画面位置が変わってしまう場合は「オフ」に設定を戻してご使用ください。

水平位置

画面の水平位置を調節します。
▶ ボタンを押すと画面が右へ移動し、◀ ボタンを押すと画面が左へ移動します。

垂直位置

画面の垂直位置を調節します。
▶ ボタンを押すと画面が上へ移動し、◀ ボタンを押すと画面が下へ移動します。

クロック周波数

画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。
▶ ボタンを押すと画面が広がります。
◀ ボタンを押すと画面が縮みます。

位相

画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭の表示がぼやけたときに調節します。

水平解像度

入力タイミングの水平解像度を設定します。

垂直解像度

入力タイミングの垂直解像度を設定します。

アドバンスト*5

HDR MODE (HDMI入力のみ)

本機がHDR信号を検出した場合、「弱」、「中」、「強」からお好みのガンマ特性が選択できます。

シャープネス*4

文字や画像のキレを調節します。

▶ ボタンを押すとシャープになり、◀ ボタンを押すとソフトになります。

ご参考

- ・調節によっては線が二重になる場合があります。この場合はシャープネスをソフトに調節してください。
- ・入力している信号解像度と「アスペクト」の設定の組み合わせにより機能しない場合があります。

アスペクト

画像のアスペクトを選択します。詳細は本取扱説明書のアスペクト変更を参照ください。

ご参考

- ・「スクリーンセーバー」を設定すると「アスペクト」は自動的に「フル」になります。スクリーンセーバーを解除すると、設定されたアスペクトになります。
- ・「スクリーンセーバー」の「モーション」が設定されているとこの機能は操作しません。
- ・ZOOM 機能において画面を縮小して使用した場合、画像が劣化する可能性があります。
- ・画面を縮小して表示している場合、「水平位置」、「垂直位置」の設定を変更しても表示されている画像に変化はありません。
- ・4K 信号を入力している場合、「ZOOM」は使用できません。

標準.....比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。

フル.....比率を変えて、画面いっぱいに表示します。

ワイド.....16:9 のレターボックス信号を画面いっぱいになるよう表示します。

画像のアスペクトによっては画像の一部が表示されない場合があります。

1:1.....画像サイズそのまま表示します。入力信号の解像度が推奨解像度を超える場合、画像サイズを小さくし画面に合うよう表示します。

ズーム.....画像を拡大/縮小します。

ご参考

- ・拡大表示した場合、表示エリアから出た部分の画像は表示しません。縮小で表示した場合、画像が劣化することがあります。

ZOOM: 水平、垂直比を維持して画像を拡大します。

H ZOOM: 水平のみが拡大/縮小します。

V ZOOM: 垂直のみが拡大/縮小します。

H POS: ▶ で右へ移動、◀ で左へ移動します。

V POS: ▶ で上へ移動、◀ で下へ移動します。

アダプティブコントラスト*3, *4

画像に合わせてコントラストを自動的に調節する機能です。「オフ」、「弱」、「強」から選択します。「強」を選択すると明暗がはっきりした表示になりますが、明るさの変化が不自然になる場合があります。

各種設定メニュー

オートデミング

画面の明るさを自動的に調節する機能です。

映像内容に応じて画面の明るさを自動的に調節する機能です。

ご参考

- ・「外光センサー」で「設定 1」または「設定 2」が選択されている場合は設定は無効となります。

外光センサー*1 室内の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節する機能をもっています。「設定 1」または「設定 2」に設定すると、室内の明るさの状態に応じてディスプレイの明るさを自動的に調節します。
「設定 1」または「設定 2」を選び、明るいときと暗いときのバックライト値を設定します。

明るい時: 室内が明るい状態のときの設定

照度—室内が明るい状態での明るさのレベル

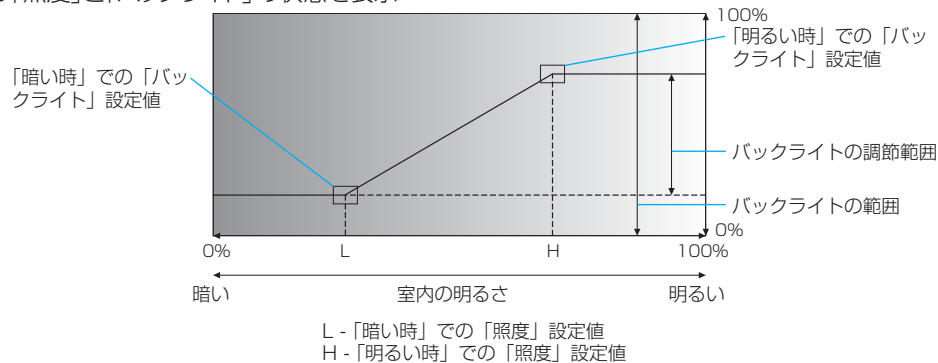
バックライト—室内が明るい状態でのバックライトの最大値

暗い時: 室内が暗い状態のときの設定

照度—室内が暗い状態での明るさのレベル

バックライト—室内が暗い状態でのバックライトの下限値

状況: 現在の「照度」と「バックライト」の状態を表示



ご参考

- ・「設定 1」または「設定 2」を選択すると「バックライト」の設定は無効となります。
- ・「設定 2」を選択するとバックライトのレベルが「0/100」の時の画面を「設定 1」よりさらに暗くすることができます。
- ・「オートブライトネス」で「オン」が選択されているときは設定は無効となります。

ご注意

- ・「外光センサー」選択時には、センサーが障害物の陰にならないよう注意してください。

人感センサー*1 人感センサーによる省電力機能を選択します。「待ち時間」で設定した時間が経過すると動作します。

ご参考

- ・「人感センサー」で「オートオフ」または「CUSTOM」が選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。
- ・「人感センサー」動作時に「自動入力切替」を実行すると「人感センサー」は解除されます。

オフ:

「人感センサー」を使用しません。

オートオフ:

人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的にパワーオフの状態になります。

人を感知すると元の状態に復帰します。

CUSTOM:

人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、画面の明るさ、音量、入力が自動的に「バックライト」、「音量」、「入力選択」で設定した状態になります。人を感知すると明るさと音量、入力は自動的に元の「現在の設定」の状態に戻ります。

ご参考

- ・「入力選択」で「VGA(RGB)」は選択できません。

タイルマトリクス*2

タイルマトリクスは画面を分割してマルチスクリーンで表示する機能です。また、画像を水平および垂直に最大10分割できます。

ご参考

- 分配器を使って映像信号を各々のディスプレイへ接続することが必要です。
- 「アスペクト」で「ZOOM」が設定されている場合、「フル」の設定になります。「タイルマトリクス」実行後は設定された「ZOOM」の表示に戻ります。
- 「タイルマトリクス」動作時に「アスペクト」の設定を「ZOOM」に変更した場合、「タイルマトリクス」解除後に反映されます。
- 低い解像度の映像信号は多数のディスプレイを使用するマルチスクリーン表示には適していません。
- 「タイルマトリクス」動作時に「スクリーンセーバー」の「モーション」でオフ以外を実行すると「タイルマトリクス」は解除されます。

水平モニター数.....水平分割数を設定します。

垂直モニター数.....垂直分割数を設定します。

位置.....拡大したい部分を選択します。

TILE COMP.....「許可」を選択すると画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更します。

▶ ボタンまたは ◀ ボタンで表示画面の位置やサイズを微調節することもできます。

設定反映.....「する」を選択した場合、タイルマトリクスの各設定を適用します。

映像反転

「オン」を選択すると画像を180°回転して表示します。

リセット

「ピクチャーモード」以外の映像設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

*1: 別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。

*2: 「Media Player」を除く。

*3: YPbPr信号のみ。

*4: 「VGA(RGB)」を除く。

*5: 「OSD 方向」が「ランドスケープ」のときのみ表示され、設定できます。

■ 音声設定

音声モード

使用する環境に適した音声効果の設定にしたり、任意の設定ができます。

標準.....標準の音響設定です。

店舗.....店舗等でのサインage用途に適した音響設定です。

会議室.....電話会議やテレビ会議に適した音響設定です。

高輝度.....視覚的なメッセージを強調するための音響設定です。工場出荷時の設定では無音状態になります。

交通機関.....公共施設等の設置に適した音響設定です。工場出荷時の設定では無音状態になります。

CUSTOM.....任意の設定ができます。

音量*1

音量を調節します。ラインアウトの音量は、「ラインアウト」が「連動」のときのみ調節できます。

バランス*1

ステレオ/モノラル.....音声の出力を「ステレオ」か「モノラル」かを設定します。

ステレオ: 左右の音声バランスを調節できます。▶ ボタンを押すと右側の音が大きくなり、◀ ボタンを押すと左側の音が大きくなります。

モノラル: 音声バランスは調節できません。

サラウンド.....「オン」を選択するとサラウンドサウンド音響を人工的に作り出します。

イコライザー*1

高音.....高音域の音量を調節します。

▶ ボタンを押すと高い音が強くなり、◀ ボタンを押すと高い音が弱くなります。

低音.....低音域の音量を調節します。

▶ ボタンを押すと低い音が強くなり、◀ ボタンを押すと低い音が弱くなります。

各種設定メニュー

アドバンスト*1

ラインアウト

「連動」を選択すると本体の ◀/▶ ボタンまたはリモコンのVOL +/VOL - ボタンで出力端子から出力されるオーディオの音量を調節できます。「固定」を選択すると音量は固定されます。

音声遅延

音声遅延 「オン」を選択すると遅延時間が反映されます。

遅延時間 音声が出力されるまでの遅延時間を調節します。遅延時間は0 ～ 100 ミリ秒の間で設定できます。

内蔵スピーカー

「オフ」を選択すると内蔵スピーカーの出力を停止します。

リセット

「音声モード」以外の音声設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

*1: 「OSD 方向」が「ランドスケープ」のときのみ表示され、設定できます。

■ スケジュール

スケジュール情報

本機の動作スケジュールを設定します。

▲/▼ ボタンで項目を移動し、◀/▶ ボタンで調節します。

本体のINPUT ボタンまたはリモコンのSET ボタンでチェックボックスのチェックを付けたり外したりすることができます。スケジュールの詳細は[50ページ](#)を参照ください。

設定

最大14 件設定することができます。チェックボックスをチェックするとスケジュールが有効になります。

電源制御

電源制御の「オン」/「オフ」を設定します。

スケジュールを設定した各チェックボックスごとにオンまたはオフを設定してください。

時刻

スケジュールを実行する時間を設定します。

入力*1

スケジュールを実行時に使用する入力信号を設定します。スケジュール実行前に選択されていた入力信号から変更しない場合は「—」を設定してください。

入力を設定する際は「電源制御」を「オン」に設定してください。

日付

特定の日付を指定する場合に年/月/日を設定します。

毎週

毎週同じ曜日にスケジュールを実行する場合、実行する曜日のチェックボックスにチェックを付けます。

オフタイマー

「オン」を選択すると、本機がスタンバイ状態になるまでの時間を1時間～24時間の間で設定できます。

ご参考

「オフタイマー」を「オン」にすると、スケジュールは動作しません。

リセット

「オフタイマー」以外のスケジュールの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

*1: 「VGA(RGB)」を除く。

■ ネットワーク

ネットワーク情報

ネットワークの設定をします。

IP設定

本機を接続するネットワークが、DHCP サーバーによってIP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は、「手動」を選択し、下の「IP アドレス」、「サブネットマスク」、および「デフォルトゲートウェイ」を設定してください。

ご参考

- ・「IP 設定」を「手動」にしている場合の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。

IP アドレス

「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のIP アドレスを設定します。

サブネットマスク

「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。

デフォルトゲートウェイ

「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。

ご参考

- ・設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

DNS

本機を接続するネットワークがDHCP サーバーによってIP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は「手動」を選択し、下の「優先DNS サーバー」および「代替DNS サーバー」を設定してください。

ご参考

- ・「DNS」を「手動」に設定している場合の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。

優先DNSサーバー

本機を接続するネットワークの優先DNS サーバーのIP アドレスを設定します。

ご参考

- ・設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

代替DNSサーバー

本機を接続するネットワークの代替DNS サーバーのIP アドレスを設定します。

ご参考

- ・設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

MACアドレス

MAC アドレスを表示します。

実行

SETを押すと設定が反映されます。

ネットワークセキュリティ*1

ネットワーク経由でおこなう機能の「有効」/「無効」を設定します。

ご参考

- ・ネットワーク経由でファームウェアのリビジョン更新をおこなう際は、「ディスプレイ」を「有効」に設定してください。

ディスプレイ

ディスプレイを制御する機能の「有効」/「無効」を設定します。
無効に設定すると以下の機能が無効になります。
外部制御、メール通知、HTTP サーバー機能、SNMP、AMX、PJLink

APPLY

「する」を選択すると設定した内容が反映されます。

各種設定メニュー

PING*¹

プリセットのIPアドレスで、通信の応答を確認します。

IPアドレス

PING を送る「IP アドレス」を設定します。

実行

SETを押すと設定した「IP アドレス」に対してPING を送信し、返答の有無を確認します。

リセット*¹

「ネットワーク情報」と「PING」以外のネットワークの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

*¹: 「OSD 方向」が「ランドスケープ」のときのみ表示され、設定できます。

■ 保護設定

パワーセーブ設定*¹

パワーセーブ

パワーセーブの「許可」/「禁止」を設定します。

「許可」を設定した場合、入力信号が失われてパワーセーブに移行すると「モード」で選択した状態になります。パワーセーブに移行するまでの時間を設定することができます。パワーマネジメント機能については本取扱説明書の機能「電源オンモードと電源オフモード」を参照ください。

「禁止」を設定した場合、パワーセーブには移行しません。本体の電源ボタンまたはリモコンのパワーボタンをオフにしたり、スケジュール機能の「電源制御」や外部コマンドで本機の電源がオフになると、「モード」で選択した状態になります。

ご参考

- ・「人感センサー」*¹ で「オートオフ」または「CUSTOM」が選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。
- ・入力信号が無い場合でもビデオカードによっては信号を送り続けてしまうことがあります。

この場合、パワーセーブに移行しません。

*¹: 別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。

時間設定 パワーセーブに移行する時間を設定します。入力信号が失われ設定した時間が経過するとパワーセーブ機能が動作します。

モード

「最大省電力」を設定した場合、接続している機器の信号が入力されても自動的に復帰しません。この場合、信号ケーブルを差しなおすか、リモコンまたは本体の電源ボタンでオンにしてください。

「通常省電力」を設定した場合、接続している機器の信号が入力されると自動的に復帰します。外部制御(→[45ページ](#))をお使いの場合は「通常省電力」をおすすめします

USB

USB電源

USB ポートへの電源供給の設定ができます。

スタンバイ時に電源供給する場合は「オン」を選択してください。

ご参考

- ・ 接続している USB 機器により消費電力は変わります。

パワーセーブメッセージ

「オン」を選択するとパワーセーブに入るときにメッセージを表示します。

クイック起動

「許可」、「禁止」から設定します。「許可」を設定した場合、消費電力は大きくなりますが、映像信号を入力したときのディスプレイの復帰時間が早くなります。

温度管理

内部温度

本機の内部温度を表示します。

スクリーンセーバー*1

液晶パネルにかかる負担を軽減させます。

ご参考

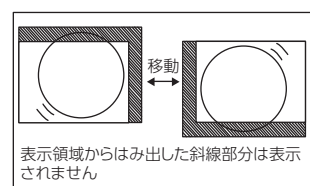
- 画像の「アスペクト」は「フル」になります。「スクリーンセーバー」を解除すると、設定された「アスペクト」になります。
- 「スクリーンセーバー」が動作している場合、「アスペクト」、「オーバースキャン」は動作しません。
- 4K 信号を入力している場合、「スクリーンセーバー」は動作しません。
- リモコンの STILL ボタンを押したり「タイルマトリクス」を実行すると、「スクリーンセーバー」は解除されます。

モーション

「オン」を選択すると表示内容をわずかに上下左右に動かして、液晶パネルの残像を軽減させます。

インターバル 何秒ごとに表示内容を動かすか設定します。

ズーム 表示内容をわずかに上下左右に動かして、液晶パネルの残像を軽減させる機能です。表示内容が動くため、画面端部分に表示されている内容は表示されない場合があります。常に全体を表示する場合は99% 以下を選択してください。



パワーオンディレイ*1

スタンバイから電源オンモードになるまでの時間を設定します。

遅延時間

遅延時間は0 ～50 秒の間で設定できます。

ID連動

「オン」を選択すると「遅延時間」をディスプレイの ID にリンクします。これにより、マルチ接続しているすべてのディスプレイが同時にオンになった場合に発生する電力サージが抑えられます。モニター ID の数が大きいほど、ディスプレイの電源がオンになるまでの遅延が長くなります。

たとえば、モニター ID が 20 で、「遅延時間」が 5 秒の場合は、POWER ON ボタンが押されてから、実際に電源がオンになるまでにかかる時間は 95 秒です。

ご参考

「遅延時間」が 0 秒に設定されている場合は、「ID 連動」の遅延はありません。電源のオンを遅らせるには、遅延時間を 1 秒以上にする必要があります。

セキュリティ設定

セキュリティ機能を設定します。

パスワード

パスワードを入力します。パスワードの初期値は「0000」です。

SECURE MODE

START-UP LOCK 選択すると主電源オン時にセキュリティ機能のパスワードを要求します。

CONTROL LOCK 選択すると本体のボタンまたはリモコンのボタンを押したときにセキュリティ機能のパスワードを要求します。

パスワード変更

パスワードを変更します。パスワードの初期値は「0000」です。

現在のパスワード 現在のパスワードを入力します。

新しいパスワード 新しいパスワードを入力します。

パスワードの確認 「パスワードの確認」にもう一度新しいパスワードを入力します。

ロック設定

リモコンのボタンと本体コントロールパネル上のボタン/キー操作をロックする機能です。

[「ボタン操作のロック」](#)(54ページ、55ページ)を参照ください。

各種設定メニュー

ALERT MAIL*¹

有効にする場合は「オン」を選択してください。

詳細は本取扱説明書の「HTTPを使用したブラウザーによるネットワークの設定」内の「メール通知設定」を参照ください。

リセット*¹

「パワーオンディレイ」と「セキュリティ設定」以外の保護設定が工場出荷時の状態に戻ります。

*¹: 「OSD 方向」が「ランドスケープ」のときのみ表示され、設定できます。

■ システム

モニターインフォメーション

ディスプレイのモデル名、シリアル番号、およびファームウェアリビジョンを表示します。

MODEL

SERIAL

CO₂削減量

推定二酸化炭素削減情報を kg-CO₂ で表示します。二酸化炭素削減計算における二酸化炭素排出量係数は、OECD (2008 Edition) に基づきます。

CO₂排出量

推定二酸化炭素排出情報を kg-CO₂ で表示します。これは、実際の測定値ではなく、計算上の推定値です。この推定値は、オプション機器を接続していない場合の計算値です。

ファームウェア

ディスプレイの現在のファームウェアリビジョンを表示します。

MACアドレス

ディスプレイの「MACアドレス」を表示します。

日付/時刻設定

年

月

日

時刻

年/月/日/時間を設定します。設定後、「更新」ボタンで設定値を反映します。

ご参考

本機の主電源オフのまま約 2 週間経過すると時計機能が停止します。この場合は「日付 / 時刻設定」を再度設定してください。

・「インターネット時刻サーバー」が「オン」の場合、動作しません

日付

現在の時刻を表示します。

サマータイム

サマータイム

「オン」を設定した場合、以下で設定した「サマータイム」を実行します。

本機を日本で使用する場合は、サマータイムを設定しないでください。

開始月/日/時刻

サマータイムの開始月/日/時間を設定します。

終了月/日/時刻

サマータイムの終了月/日/時間を設定します。

時差

「現在時刻」と「サマータイム」の時差を設定します。

外部制御

コントロール用のID番号を設定します。

モニターID*¹

モニターID番号は1～100、グループID番号はA～Jの間で選べます。
モニターID番号はリモコンをIDモードで使用する場合に使用します。

グループID*¹

グループID番号は1つのディスプレイに複数設定できます。

外部制御端子

本機を外部制御する端子を「RS-232C」または「LAN」から設定し、SETを押します。

言語選択

OSD に使用する言語を選択します。

OSD**OSD時間*¹**

OSD メニューを表示する時間の設定をします。
10 秒～240 秒の間で設定ができます。

OSD位置*¹

OSD メニューを表示する位置を調節します。
▶ ボタンを押すと画面の右へ移動し、◀ ボタンを押すと画面の左へ移動します。
▲ ボタンを押すと画面の上へ移動し、▼ ボタンを押すと画面の下へ移動します。

インフォメーションOSD*¹

インフォメーションOSD の表示の「オン」/「オフ」を設定します。「インフォメーションOSD」は入力の切替えや入力信号の状態が変化したとき、または入力信号が異常なときに画面に表示されるメッセージです。

IP情報*¹

「オン」を選択するとインフォメーションOSDにIPアドレスを表示します。
表示される内容はOSD メニューの「システム」→「外部制御」または「ネットワーク」→「ネットワーク情報」で設定します。

OSD方向

OSD メニューの表示方向を設定します。
ランドスケープ.....横型設置した場合に見やすい方向でOSD メニューを表示します。
ポートレート.....縦型設置した場合に見やすい方向でOSD メニューを表示します。

キーガイド*¹

OSD メニューを表示しているときにキーガイドを表示する機能です。

クローン設定*¹

ディスプレイの設定値をUSBメモリー (FAT16、FAT32) を使って他のディスプレイにコピーできます。

全入力信号

すべての入力端子の設定をコピーする場合に選択します。選択しない場合は、現在の入力端子の設定がコピーされます。
OSDメニュー(入力、映像設定、音声設定、スケジュール、ネットワーク、保護設定、システム、HTTP)を個別に選択し、入力端子に対し設定値を読み込みます。

ご参考

- ・ 読み込み・書き込みする項目については当社 Web サイトを参照ください。

コピー開始 USB読み

USBメモリーに書き込まれた設定を読み出し、接続したディスプレイに選択した設定内容を上書きします。

コピー開始 USB書き

USBメモリーにディスプレイの設定内容のコピーを開始します。

各種設定メニュー

電源ランプ

「オフ」を選択すると電源ボタン入（青色点灯）のとき、電源ランプを消灯することができます。

ミュート設定*¹

ディスプレイの音声出力と映像出力をミュートすることができます。

音声: リモコンの MUTE ボタンを押すと音声を出力しません。

映像: リモコンの MUTE ボタンを押すと映像を出力しません。

音声&映像: リモコンの MUTE ボタンを押すと音声と映像を出力しません。

ご参考

以下の場合、ミュート設定が解除されます。

- ・「入力」を変更した場合
- ・主電源スイッチをオフ / オンした場合
- ・リモコンや本体の電源ボタンでオフ / オンした場合
- ・パワーセーブから復帰した時
- ・「ミュート設定」を変更した場合
- ・「音声モード」を変更した場合
- ・リモコンや本体キーで音量を変更した場合
- ・映像信号（解像度 / 走査周波数）を変更した場合

ファームウェア更新*¹

FIRMWAREイメージファイル(PACファイル)を保存したUSBメモリー(FAT16、FAT32)を本機に接続し、ファームウェアを更新します。

ご参考

- ・適用可能なファームウェアは Web サイトからダウンロードできます（[77 ページ](#)）。インストールについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

リセット

「言語選択」、「OSD方向」、「キーガイド」、「日付/時刻設定」以外のシステムの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

オールリセット*¹

「保護設定」の「セキュリティ設定」→「パスワード」を除くすべての設定が工場出荷の状態に戻ります。

*¹: 「OSD 方向」が「ランドスケープ」のときのみ表示され、設定できます。

メディアプレーヤーメニューの使い方

メディアプレーヤーは、本機の USBType-A 端子 (19 ページ) に接続した USB メモリーに保存されている動画、音楽、写真 (静止画) ファイルを再生する機能です。

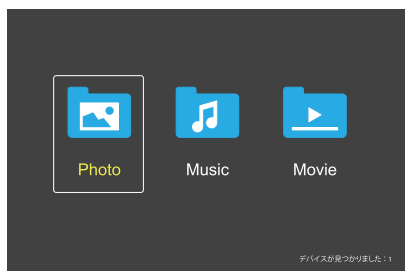
リモコンの MENU ボタンを押し、「入力選択」から「Media Player」を選択してメディアプレーヤーメニューを表示します。

ご参考

- ファイルが保存されたUSBメモリーを、USBType-A端子に装着してください。
- ディスプレイの設置方向に合わせた動画や静止画を保存してください。
- メディアプレーヤーメニューは常に横型設置向けで表示されます。
「OSD方向」の「ポートレート」を設定しても、メディアプレーヤーメニューの表示方向は変わりません。

■ メディアプレーヤーメニュー

USB メモリーに保存された動画、音楽、写真 (静止画) ファイルを表示することができます。



動画、音楽、写真から再生するファイルの種類を選択します。

ファイル選択操作

- ファイル再生
リモコンの ▲、▼、◀、▶ ボタンで ファイルを選び、▶ ボタンを押します。
- ファイル選択再生
 - リモコンの▲、▼、◀、▶ ボタンでファイルを選択します。
 - SETボタンを押して、選択したファイルにチェックマークを付けます。

お知らせ

- 選択したファイルは、フォルダーに表示されている順番で再生します。
- ファイルの名称は半角英数字を使用してください。
- ファイル再生画面では、MENUボタンを押してもOSD画面は表示されません。OSD画面を表示する際は以下の操作をおこなってください。
 - ファイル再生画面でEXITボタンを押します。
 - ファイル選択画面でMENUボタンを押します。

■ 操作ボタン

- ファイル再生中にSETボタンを押すと、画面上にOSD操作メニューが表示されます。
- OSD操作メニューの選択項目を切り替えるときは ◀、▶ で項目を選び、SETボタンで決定します。
- OSD操作メニューを非表示にするときは、EXITボタンまたは ▼ ボタンを押します。

スライドショー操作

- スライドショーを開始するときは ▲、▼、◀、▶ ボタンでファイルを選び、2▶ ボタンを押します。
一時停止するときは、6|| ボタンを押します。
- OSD操作メニューでスライドショーを一時停止するときは、|| を選択します。
再生を再開するときは、▶ を選択します。
- 前の画像に戻るときは ◀ を選択するか ◀◀1 ボタンを押します。
- 次の画像に進むときは ▶ を選択するか 3▶▶ ボタンを押します。
- スライドショーを停止するときは 5■ を選択するか 5■ ボタンを押します。

リピート再生

ファイル再生のリピートを選択できます。選択できるのは、以下のモードです。

Repeat Off - リピートなし

- フォルダー内のすべてのファイルが順番に1回再生されます。
- 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルが並び順に1回再生されます。

Repeat 1 - 1 ファイルリピート

- 再生中のファイルが繰り返し再生されます。再生していない場合は、選択しているファイルが繰り返し再生されます。
- 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルのうち並び順が最初のファイルが繰り返し再生されます。

Repeat ALL - 全リピート

- フォルダー内のすべてのファイルが順番に繰り返し再生されます。
- 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルが並び順に繰り返し再生されます。

ランダム再生

Random Off Random On

- 「On」を選択するとリピート再生で設定したファイルがランダムに再生されます。

その他の機能

- ・  を選択すると、ファイルの再生リストを確認できます。また、再生するファイルをリストから選択できます。
- ・ 再生中に  を選択すると、表示中のファイル情報を表示できます。
- ・ 表示中の画像を回転させるときは  または  を選択します。

ズーム機能

- ・ 画像サイズを切り替えるときは  または  を選択します。
8、4、2、1、1/2、1/4
- ・ 拡大時に画面位置を移動するときには、 を選択します。

スライド設定



- ・ 一枚の画像の表示時間を設定します。
短く：5秒
中：10秒
長く：15秒

動画/音楽表示操作

- ・ スライドショーを開始するときには 、、、 ボタンでファイルを選び、 ボタンを押します。一時停止するときには、 ボタンを押します。
- ・ OSD操作メニューでスライドショーを一時停止するときには、 を選択します。再生を再開するときには、 を選択します。
- ・ 早送りするときには  を選択します。
2倍速、4倍速、8倍速、16倍速、32倍速
(音声は出力されません。)
- ・ 早戻しするときには  を選択します。
2倍速、4倍速、8倍速、16倍速、32倍速
(音声は出力されません。)
- ・ 前のファイルに戻るときは  を選択するか  ボタンを押します。
- ・ 次のファイルに進むときは  を選択するか  ボタンを押します。
- ・ 再生を停止するときには  を選択するか  ボタンを押します。

リピート再生

ファイル再生のリピートを選択できます。選択できるのは、以下のモードです。



- リピートなし

- ・ フォルダー内のすべてのファイルが順番に1回再生されます。
- ・ 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルが並び順に1回再生されます。

 - 1 ファイルリピート

- ・ 再生中のファイルが繰り返し再生されます。再生していない場合は、選択しているファイルが繰り返し再生されます。
- ・ 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルのうち並び順が最初のファイルが繰り返し再生されます。

 - 全リピート

- ・ フォルダー内のすべてのファイルが順番に繰り返し再生されます。
- ・ 複数のファイルにチェックマークを付けると、マークが付いたファイルが並び順に繰り返し再生されます。

   (動画のみ) - リピート AB

- ・ 動画の特定の部分をループ再生することができます。
 で開始点、 で終了点を指定します。
 で特定の部分のループ再生を終了します。

ランダム再生

- ・ 「On」を選択するとリピート再生で設定したファイルがランダムに再生されます。

■ その他の機能

- ・  を選択すると、ファイルの再生リストを確認できます。また、再生するファイルをリストから選択できます。
- ・ 再生中に  を選択すると、表示中のファイル情報を表示できます。

ご参考

- ・ 電源をオフしたりメディアプレーヤーメニューを終了すると再生リストの選択がリセットされます。再度メディアプレーヤーを使用する際は、改めてファイルを選択してください。
- ・ 電源オン時にファイルを自動的に再生する場合は、「入力信号設定」の「Media Player」(33ページ)で再生したいコンテンツを選択してください。
- ・ 使用できるのはUSBマストレージクラスのデバイスのみです。
- ・ 全てのUSB機器に対して、その動作を保証するものではありません。
- ・ USBハブは使用しないでください。
- ・ 複数のパーティションがあるUSBメモリーには対応していません。
- ・ USB2.0タイプA端子(DC 5 V、最大2 A)に対応しています。2 Aを超えるUSB機器の場合は、USB機器に付属のAC変換アダプターか外部電源を使用してください。
- ・ NTFS (New Technology File System) でフォーマットされたUSBメモリーの使用をおすすめします。
- ・ FAT16またはFAT32でフォーマットされたUSBメモリーをコンピューターに接続すると、「スキャンして修復」のメッセージが表示されることがあります。その場合は、「スキャンおよび修復」を実行してください。

USBのデータ形式

対応ファイルシステム	FAT16(最大2GB)、 FAT32(最大4GB)、 NTFS		
最大フォルダー階層数	9		
最大写真枚数	997		
写真モード			
拡張子	データ形式	画像最小解像度(横×縦)	画像最大解像度(横×縦)
JPEG、JPG、JPE	ベースラインJPEG	75x75ピクセル	15,360x8,640ピクセル
音楽モード			
拡張子	データ形式	最大ビットレート	最大チャンネル数
MP3	MPEG1/2 Layer3(MP3)	320 Kbps	2ch
動画モード			
コンテナフォーマット	対応映像コーデック		対応音声コーデック
MPG、MPEG	MPEG1、MPEG2、MPEG4		LPCM、MP3、AAC
TS	MPEG2、H.264、HEVC/H.265		LPCM、MP3、AAC
MP4	MPEG2、MPEG4、H.263、H.264、HEVC/H.265		LPCM、MP3、AAC
WMV	H.264、Windows Media Video 9		WMA 9、WMA 10 Pro
映像コーデック	映像最大ビットレート *2	最大解像度(横×縦)	
MPEG1	40 Mbps	1920x1080 @ 30 Hz	
MPEG2	40 Mbps	1920x1080 @ 30 Hz	
MPEG4	40 Mbps	1920x1080 @ 30 Hz	
H.263	40 Mbps	1920x1080 @ 30 Hz	
H.264	135 Mbps	3840x2160 @ 60 Hz	
HEVC/H.265	100 Mbps	3840x2160 @ 60 Hz	
Windows Media Video 9 (WMV3)	40 Mbps	1920x1080 @ 30 Hz	
音声コーデック	音声最大ビットレート *2	最大チャンネル数	
LPCM	1.5 Mbps	5.1ch*1	
MPEG1/2 Layer3(MP3)	320 Kbps	2ch	
AAC	AAC-LC:576 Kbps HE-AAC v1: 288 Kbps HE-AAC v2: 144 Kbps	5.1ch*1	
WMA 9 Standard	320 Kbps	2ch	
WMA 10 Pro M0	192 Kbps	2ch	
WMA 10 Pro M1	384 Kbps	5.1ch*1	
WMA 10 Pro M2	768 Kbps	5.1ch*1	

*1: 2chに変換して再生されます。

*2: 映像、音声の最大ビットレートを組み合わせた場合、スムーズに再生されない場合があります。

お知らせ

- 上記の条件が満たされていても、動画ファイルを再生できないことがあります。
ビットレートによっては、ファイルを正しく再生できないことがあります。
本機が対応していないコーデックで作成された動画ファイルは再生できません。

便利な機能

■ 電源スケジュールと再起動スケジュール

スケジュール機能により、再起動や本機の電源オンとスタンバイ状態を任意の時刻に切り替えることができます。

スケジュールの作成

1. OSDメニュー「スケジュール」の「スケジュール情報」を表示する。

- ① リモコンの MENU ボタンを押します。
- ② リモコンの ▲/▼ ボタンで「スケジュール情報」(40ページ)を選択します。
- ③ SET ボタンまたは ► ボタンを押して「設定」に移動します。
- ④ ◀/▶ ボタンでスケジュール番号を選択し、SET ボタンを押します。
- ⑤ 番号のとなりの四角にチェックが表示されます。
これで、スケジュールの作成が可能になります。

2. 電源オン/オフスケジュールを設定する。

- ① ▼ ボタンで「電源制御」を選択し、◀/▶ ボタンで「オン」を選択します。
電源オフのスケジュールを設定する場合は「オフ」を選択します。
- ② ▼ ボタンで「時刻」を選択し、◀/▶ ボタンで時刻を設定します。
- ③ ▲/▼ ボタンで「入力」を選択し、◀/▶ ボタンで入力信号を選択します。

ご参考

- ・「VGA(RGB)」は選択できません。

- ④ ▼ ボタンで「日付」、「毎週」を選択し、作成するスケジュールに対応するメニュー項目を選択して SET ボタンを押します。
 - ・ 特定の日にスケジュールを設定するときは「日付」にカーソルを合わせ、SET ボタンを押します。
 - ・ 特定の曜日にスケジュールを設定する場合は上下ボタンで「毎週」を選択して SET ボタンを押します。続けて特定の曜日を設定します。
- ⑤ ひとつのスケジュールの作成が完了すると、別のスケジュールの作成が可能になります。MENUボタンを押してOSDメニューを終了するか、EXITボタンを押してひとつ前のOSD画面に戻ります。



ご参考

- ・ 「スケジュール」を設定する前に、必ず「日付／時刻設定」で現在の日付を設定してください。
- ・ スケジュール設定画面を閉じると設定した値が保存されます。
- ・ 複数のスケジュールが同時刻に設定されている場合は、プログラム番号の大きいスケジュールを優先します。
- ・ 「オフタイマー」が動作中の場合は、「スケジュール設定」を実行しません。
- ・ スケジュール設定画面を開いている間スケジュールは実行されません。
- ・ 本機の電源コードを外したあとそのまま約 2 週間経過すると、日付と時刻が初期化され時計機能は停止します。初期化されると、日付は「2020 年 1 月 1 日」に、時刻は「00:00」になります。時計機能が停止した場合は、「日付／時刻設定」を再度行ってください。

■ ピクチャーモードの使い方

ピクチャーモードは「ピクチャーモード一覧」表のように一般的な用途に向けて設定されています。

ピクチャーモードを変更する：

OSD メニューの「映像設定」→「ピクチャーモード」、またはリモコンの PICTURE MODE ボタンで表示モードを選択します。

- 標準 → 店舗 → 会議室 → 高輝度 → 交通機関 → CUSTOM

ピクチャーモード一覧

ピクチャーモード	目的
標準	標準の映像設定
店舗	サイネージ、ブランディングに適した映像設定
会議室	テレビ会議等に適した映像設定
高輝度	外光の明るい環境に適した映像設定
交通機関	公共施設等の設置に適した映像設定
CUSTOM	任意の設定

ご参考

OSDメニューの「映像設定」で設定した内容は、現在選択されている「入力」に対し保存されます。

便利な機能

■ セキュリティー設定とボタン操作のロック

通常、ディスプレイはリモコンや本体コントロールパネルのボタン / キーを使って誰でも操作できます。セキュリティを設定し、ロックをかけることで、権限を持たない人による本機の使用や設定の変更を禁止することができます。

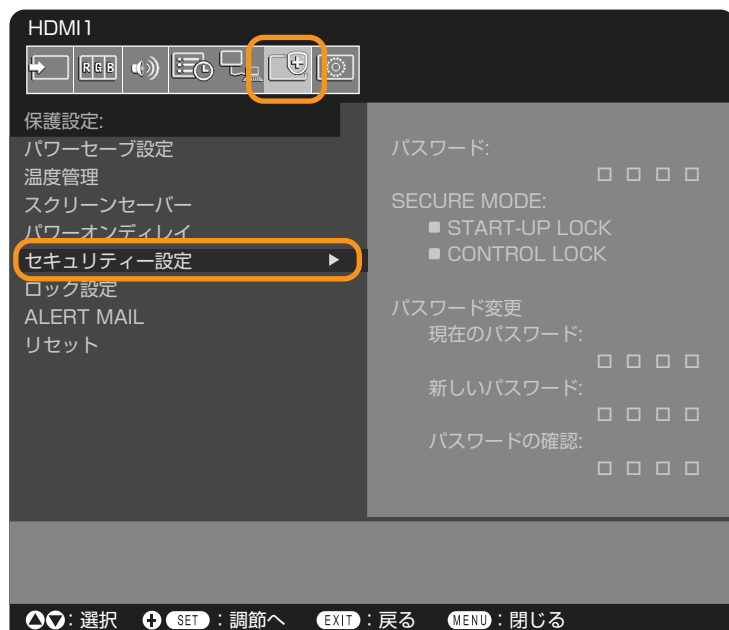
以下のセキュリティ機能、ロック機能を説明します。

- ・ パスワードの設定
- ・ パスワードによるセキュリティ
- ・ リモコンのボタン操作をロックする(27ページ)
- ・ 本体のボタン操作をロックする(13ページ)

設定メニューの表示位置

ディスプレイの OSD メニューを使ってセキュリティとロックに関する設定方法を説明します。セキュリティとロックに関する設定は、ディスプレイの Web ページにより設定することもできます。Web ページを使った OSD メニュー操作 (61 ページ) を参照してください。

セキュリティとロックの設定は OSD メニューの「保護設定」または、Web ページの「PROTECT」で設定します。



パスワードによるセキュリティ

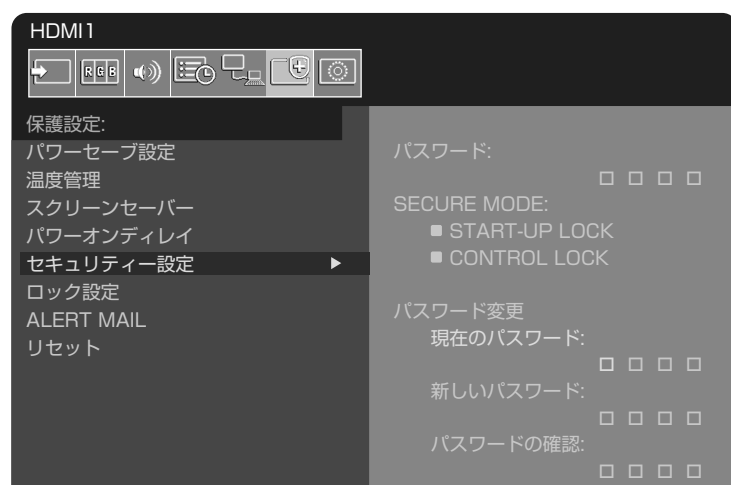
パスワードによるセキュリティを有効にすると、主電源をオンにするときや OSD メニューを表示するときに 4 桁のパスワード入力が必要になります。パスワードを入力すると、約 30 秒間パスワードの入力が無いと、本機は自動的に SECURE MODE に入り、再度パスワード入力が求められます。

ご参考

- パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを記録し安全な場所に保管してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ロックを解除するためのパスワードが必要になります。パスワードについては販売店にお問い合わせください。

本機のパスワードを設定する

必要に応じてパスワードを設定します。



- OSDメニューの「保護設定」→「セキュリティ設定」→「パスワード変更」を選択する。
- 「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力する(パスワードの初期値:0000)。
- 「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力し、「パスワードの確認」にもう一度新しいパスワードを入力する。
- 新しいパスワードが保存される。

パスワードによるセキュリティを有効にする

- OSDメニューの「保護設定」→「セキュリティ設定」を選択する。
- 「パスワード」にパスワードを入力し、「SECURE MODE」の設定に進む。
- 「SECURE MODE」の種類を選択する。

START-UP LOCK – 主電源をオンにするときにパスワードが要求されます。

主電源スイッチの操作時や停電後の電源再投入時にのみパスワードが要求されます。リモコンや本体コントロールパネルの電源ボタンによる電源オン時、スタンバイ移行時はパスワードは要求されません。

CONTROL LOCK – リモコンや本体のボタンを押したときにパスワードが要求されます。

ご参考

- OSD 画面を閉じ約 3 分経過すると、設定が有効になります。

便利な機能

ボタン操作のロック

リモコンや本体後面のボタン / キーを操作しても本機が動作しないようロックすることができます。設定の変更に必要なボタンにはロックをかけないようにすることもできます。ボタン操作のロックやロック解除時のパスワードは不要です。

リモコンのボタン操作をロックする

「ロック設定」により、リモコンのボタンによる本機の操作をロックします。「IR」を選択した場合、本体後面のボタンやキー操作をロックすることはできません。



1. OSDメニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「IR」を選択する。

2. 「モード」でロックの有効範囲を選択する。

UNLOCK — すべてのボタンが有効になります。

ALL LOCK — すべてのボタンをロックします。

CUSTOM LOCK — 以下のボタンは個別にロック設定をし、それ以外のボタンをすべてロックします。

電源 — リモコンのボタンをロックしても、「有効」を選択すると電源ボタンは動作します。「無効」を選択すると電源ボタンはロックされます。

音量 — リモコンのボタンをロックしても、「有効」を選択するとVOL+、VOL-ボタンで音量調節が可能になります。「無効」を選択すると音量調節はできません。

最小音量設定/最大音量設定 — 音量調節ボタンが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。「音量」は有効に設定しておいてください。

ご参考

「オーディオレシーバー」が「許可」の場合、本機能は動作しません。

入力 — 「有効」を選択すると入力切替ボタン、INPUTボタンが動作します。入力切替ボタン、INPUTボタンをロックするときは「無効」を選択します。

3. 「実行」を選択する。

「実行」を押すと設定が反映されます。

リモコンのボタン操作のロックを解除する

ロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、DISPLAY ボタンを5秒以上押してください。

本体のボタン/キー操作をロックする

「ロック設定」により、本体後面のボタン/キーによる本機の操作をロックします。「KEY」を選択した場合、リモコンのボタン操作をロックすることはできません。



1. OSDメニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「KEY」を選択する。

2. 「モード」でロックの有効範囲を選択する。

UNLOCK – すべてのボタン/キーが有効になります。

ALL LOCK – すべてのボタン/キーをロックします。

CUSTOM LOCK – 以下のボタン/キーは個別にロックの設定をし、それ以外のボタン/キーをすべてロックします。

電源 – ボタン/キーをロックしても、「有効」を選択すると Power ボタンは動作します。

音量 – ボタン/キーをロックしても、「有効」を選択すると</>キーで音量調節が可能になります。「無効」を選択すると音量調節はできません。

最小音量設定/最大音量設定 – </>キーが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。「音量」は有効に設定しておいてください。

ご参考

「オーディオレシーバー」が「許可」の場合、本機能は動作しません。

入力 – 「有効」を選択するとINPUTボタンで入力の切り替えが可能になります。

3. 「実行」を選択する。

「実行」を押すと設定が反映されます。

本体のボタン/キー操作のロック解除

本体のボタン ロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、本体後面の SET ボタンと MENU/EXIT ボタンを同時に 3 秒以上押し、すべての本体後面のボタンのロックを解除できます。

OSD メニュー ロックを解除して通常の動作に戻すには、OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」で「KEY」を選択します。次に「モード」→「UNLOCK」→「実行」を選択します。

リモコンボタンと本体ボタンの操作をロックする

1. OSDメニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「KEY & IR」を選択する。

以降の設定手順やロックが有効になるボタン、ロックの解除方法は「[リモコンのボタン操作をロックする](#)」と「[本体のボタン/キー操作をロックする](#)」を参照ください。

リモコンIDモード機能について

このリモコンには、モニター ID と同様の ID 番号を設定することができます。

複数台のディスプレイが並んだ場所で使用する場合、リモコンを ID モードで動作させ ID を切り替えることにより、ディスプレイを個別に操作することができます。

ディスプレイ本体の設定

モニター ID で ID 番号を設定する。

リモコンのID番号を設定する(リモコンをIDモードにする)

リモコンの ID 番号を設定した場合、ID モードで動作します。

なお、ID モード時のリモコンのボタン操作は、通常と同じです。

リモコンが ID モードのときに REMOTE ID の SET ボタンを押すと、画面の中央にモニター ID が表示されます。

下記の手順で ID モード時の ID 番号を設定することができます。

- リモコンのREMOTE IDのSETボタンを押した状態で
 - リモコンの“1”または“0”ボタンでID番号の3桁目を押す。
 - リモコンの“1-9、0”ボタンでID番号の2桁目を押す。
 - リモコンの“1-9、0”ボタンでID番号の1桁目を押す。

ID 番号を押した後、REMOTE ID の SET ボタンを放すと ID 番号が記憶されます。

- ID番号入力時間は時間をあけずに操作してください。
- 設定できるID番号は0～100までです。
- 0を設定するとモニターIDの設定にかかわらずすべてのディスプレイが選択されます。
- リモコンのID番号の設定が0以外で、リモコンのID番号がモニターIDの設定と一致しない場合は、リモコンでの操作はできません。

リモコンをノーマルモードにする(IDモードを解除する)

リモコンの REMOTE ID の CLEAR ボタンを 5 秒以上押すとリモコンはノーマルモードに戻ります。

リモコンの初期状態はノーマルモードです。

リモコンで特定のディスプレイのみを制御する方法

- 制御したいディスプレイでOSD画面を表示します。OSDメニュー「システム」→「外部制御」→「モニターID」でID番号を設定します。モニターIDは1～100まで設定することができます。先頭から、順番に1,2,3... と連続でIDを設定されることをおすすめします。
- リモコンのREMOTE IDのSETボタンを押したまま、リモコンのID番号を入力します。リモコンのID番号は、制御したいディスプレイのモニターID番号と一致している必要があります。
- リモコンを、制御したいディスプレイのリモコン受光部に向けて、REMOTE IDのSETボタンを押します。画面中央にモニターID番号が赤色で表示されることを確認してください。モニターID番号が白色で表示される場合は、モニターID番号とリモコンのID番号は一致していません。

ご参考

- リモコンではグループIDを指定できません。

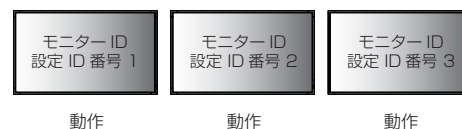


図 1
リモコンがノーマル（通常）モード、または ID 番号が 0 の場合

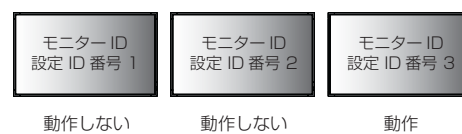


図 2
リモコンが ID モードで、ID 番号が 3 の場合

マルチディスプレイ接続

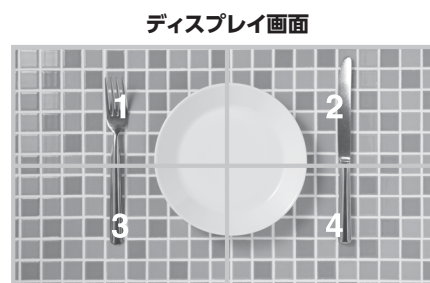
複数のディスプレイ（100 台まで）に、信号分配増幅器を介して単一画面を拡大表示します。「映像設定」→「アドバンスド」→「タイルマトリクス」で、マルチスクリーンを構成するディスプレイの縦横の台数、位置、「TILE COMP」のオン／オフを設定します。

- ・「水平モニター数」..... 水平分割数を設定します。
- ・「垂直モニター数」..... 垂直分割数を設定します。
- ・「位置」..... 現在のディスプレイで表示する部分を設定します。
- ・「TILE COMP」..... 画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更する機能です。

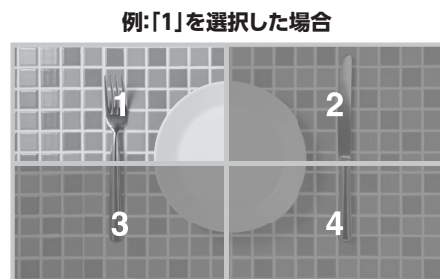
2x2(縦横2台)の例

上部ディスプレイの設定

1. 「水平モニター数」→「2」、「垂直モニター数」→「2」に設定する。
ひとつの画像が4分割され、1～4の番号が割り振られます。



2. 「位置」で1～4のいずれかを選択する。



- ・「システム」－「外部制御」－ 選択中のディスプレイにモニターIDとグループIDを与えます。
- ・「システム」－「クローン設定」－ 現在制御中のディスプレイの設定値を他のディスプレイにコピーできます。

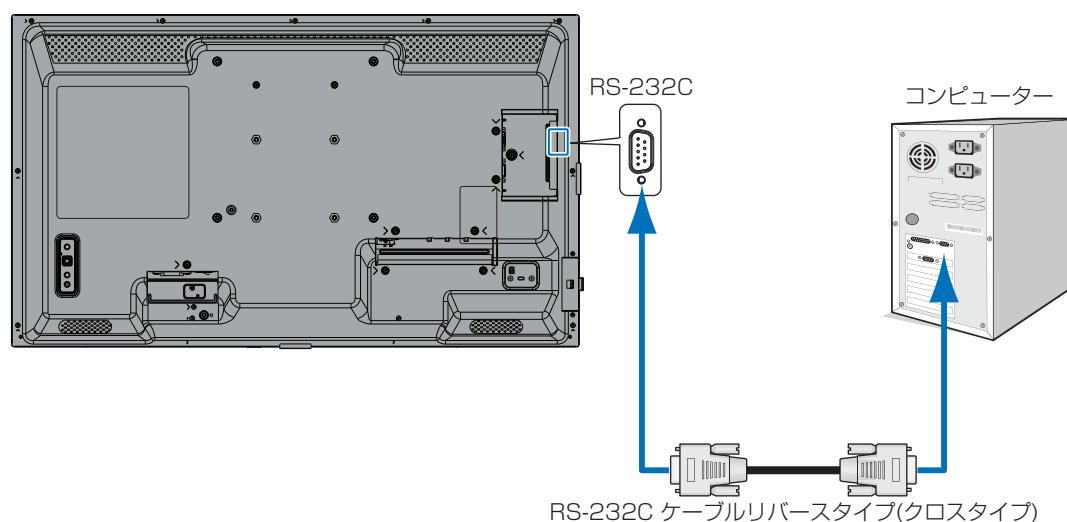
コンピューターで本機を制御する(RS-232C)

本機の RS-232C 端子とコンピューターの RS-232C 端子をリバースタイプ (クロスタイプ) の RS-232C ケーブル (市販) で接続してください。コンピューターから次のような操作が可能になります。

- 電源を入れるまたは本機をスタンバイ状態にする
- 入力の切替
- ミュート(消音)の切替

本機とコンピューターの接続方法

- 接続前にコンピューターと本機の主電源を切ってください。
- 接続後はコンピューターを立ち上げてから本機の主電源を入れてください。(com ポートが正常に動作しない場合があります。)
- RS-232C で接続されたディスプレイを制御する場合は、本取扱説明書内の「コマンドによる制御」もしくは Web サイトの外部制御コマンド説明書 (「付録 A 外部のリソース」[77ページ](#)) を参照ください。



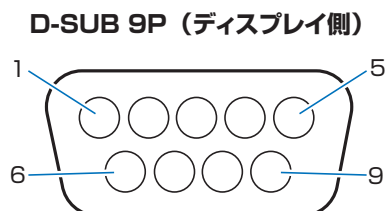
ご参考

- コンピューターの 25 ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。変換アダプターについてはお買いあげの販売店へお問い合わせください。
- ピン配列については以下をを参照してください。

ピンの配列

RS-232C input/output

Pin No	Name
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



ディスプレイは RS-232C の制御に RXD、TXD、GND を使用します。

コンピューターで本機を制御する(LAN)

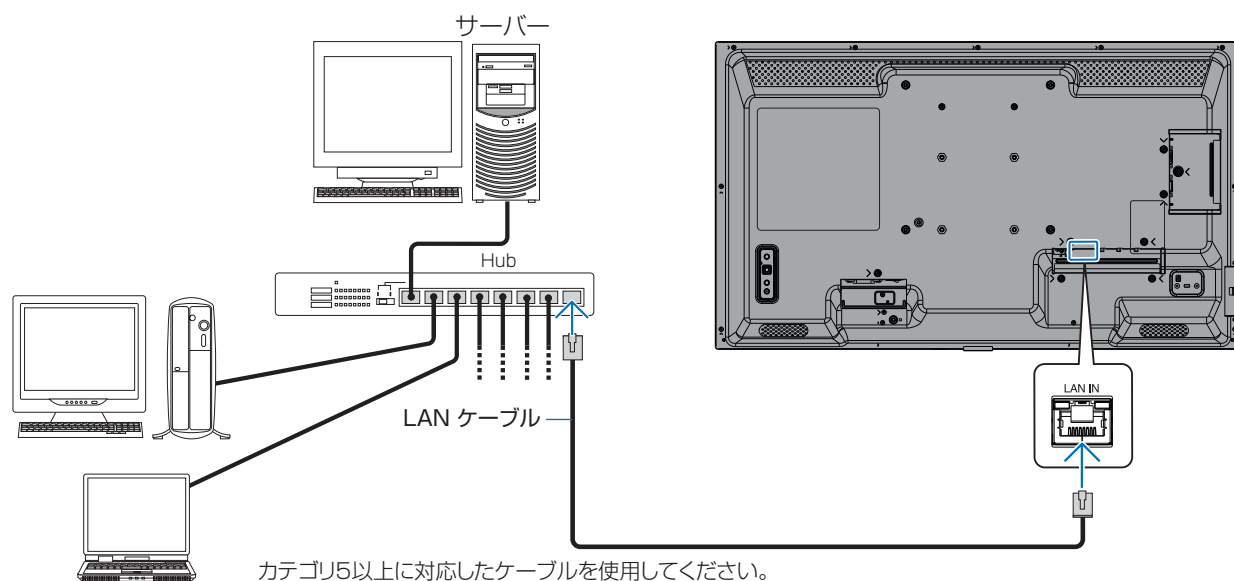
本機には LAN 端子 (RJ-45) が標準装備されています。本機を LAN ケーブルを使用してコンピューターと接続し、ネットワークに接続すると、コンピューターからネットワークを経由して本機を制御することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります (41 ページ)。

DHCP ネットワークに接続した場合、自動的に本機の IP アドレスを取得します。

ご参考

「外部制御」の「外部制御端子」を「LAN」に設定してください (45 ページ)。

接続例



個人情報の初期化

本機には、IP アドレス等、個人情報が記録されている可能性があります。
廃棄・譲渡する際には、オールリセットをおこない、設定の初期化をしてください。

コンピューターで本機を制御する(LAN)

HTTPを使用したブラウザーによるネットワークの設定

概要

LAN ケーブル（市販）を接続すると HTTP サーバー機能を使って本機に LAN の設定ができます。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用できるようにブラウザーを設定してください。設定方法はブラウザーにより異なりますので、それぞれのソフトウェアにあるヘルプなどの説明を参照ください。

HTTP サーバー機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたコンピューターで Web ブラウザーを起動し、以下の URL を入力することで可能となります。

https://〈本機の IP アドレス〉/index.html

ネットワーク設定

ご参考

- 工場出荷時の IP アドレス取得の設定は「自動」です。リセット後も IP アドレスは自動的に取得されます。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作するとディスプレイが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作をしてください。しばらく待っても応答が無い場合は、本機の主電源を入れなおしてください。
- Web ブラウザーでネットワーク設定画面が表示されない場合は、[Ctrl] + [F5] キーを押して Web ブラウザーの画面表示を更新してください。それでも表示されない場合は Web ブラウザーのキャッシュを消去してください。
- LAN で接続されたディスプレイを制御する場合は、Web サイトの外部制御コマンド説明書（「付録 A 外部のリソース」 [77 ページ](#)）を参照ください。

使用前の準備

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したブラウザー操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザーから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことをおすすめします。

ブラウザーによる操作のアドレスの扱い

以下の場合、ホスト名がそのまま利用できます。

- ブラウザーによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている。
- 使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている。
(例 1) 本機のホスト名が「pd.xxx.co.jp」と設定されている場合ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ https://pd.xxx.co.jp/index.html と指定します。
(例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ https://192.168.73.1/index.html と指定します。

初回使用時の設定

ENTER NEW HTTP PASSWORD 画面が表示されます。最大 32 文字までの英数字でパスワードを設定してください。

コンピューターで本機を制御する(LAN)

ブラウザーによる画面調節

以下の URL を入力し HOME 画面を表示します。
HOME 画面左側にある各リンクをクリックして設定画面に入ります。
[https:// <本機の IP アドレス> /index.html](https://<本機の IP アドレス>/index.html)

ブラウザーによるリモコン操作

REMOTE CONTROL：リモコンボタンと同等の操作が可能です。

■ Webページを使ったOSDメニュー操作

以下のリンクでは OSD メニューにあるすべての機能と同等の設定ができます。
「INPUT」、「PICTURE」、「AUDIO」、「SCHEDULE」、「NETWORK」、「PROTECT」、「SYSTEM」

HOME	PICTURE			
REMOTE CONTROL				
INPUT				
PICTURE				
AUDIO				
SCHEDULE				
PROTECT				
SYSTEM				
NETWORK				
MAIL				
SNMP				
AMX				
NAME				
NETWORK SERVICE				
UPDATE FIRMWARE				
PICTURE MODE				
☒ NATIVE ☐ RETAIL ☐ CONFERRING				
☐ HIGHLIGHT ☐ TRANSPORTATION ☐ CUSTOM				
APPLY				
BACKLIGHT 70 (0 - 100)				
APPLY				
BACKLIGHT DIMMING ☐ ON ☐ OFF				
APPLY				
VIDEO BLACK LEVEL 50 (0 - 100)				
APPLY				
GAMMA ☒ NATIVE ☐ 2.2 ☐ 2.4 ☐ S GAMMA				
☐ DICOM SIM. ☐ PROGRAMMABLE1 ☐ PROGRAMMABLE2 ☐ PROGRAMMABLE3				
APPLY				
COLOR 50 (0 - 100)				
☒ COLOR TEMPERATURE (100 ~ 10000K) (26 ~ 100)				

ご参考

- 設定画面に表示されるボタンの説明:

APPLY: 設定を適用します。

CANCEL: 各項目の設定を編集前の状態に戻します。

ご参考

- APPLY ボタンを押した後は、編集前の状態に戻りません。

RELOAD: 表示しているページの設定値を再読み込みします。

RESET: 各項目の設定が工場出荷の状態に戻ります。

コンピューターで本機を制御する(LAN)

ネットワーク設定

ネットワークに関する設定をします。

HOME	NETWORK SETTINGS	
REMOTE CONTROL		
INPUT	IP SETTING ☐ AUTO ☒ MANUAL	
PICTURE	IP ADDRESS 192 . 168 . 0 . 10	
AUDIO	SUBNET MASK 255 . 255 . 255 . 0	
SCHEDULE	DEFAULT GATEWAY . . .	
PROTECT	DNS ☐ AUTO ☒ MANUAL	
SYSTEM	DNS PRIMARY . . .	
NETWORK	DNS SECONDARY . . .	
MAIL		
SNMP		
AMX		
NAME		
NETWORK SERVICE		
UPDATE FIRMWARE	APPLY RESET	

IP SETTING IP アドレスの設定方法を選択します。
AUTO : IP アドレスを自動的に取得します。
MANUAL : IP アドレスを手動で設定します。

ご参考

- 接続に関して問題が発生した場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

IP ADDRESS 「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。

SUBNET MASK 「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。

DEFAULT GATEWAY 「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

DNS DNS サーバーの IP アドレスの設定方法を選択します。
AUTO : DNS サーバーの IP アドレスを自動的に取得します。
MANUAL : DNS サーバーの IP アドレスを手動で設定します。

DNS PRIMARY 本機を接続するネットワークの優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

ご参考

設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

DNS SECONDARY 本機を接続するネットワークの代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

ご参考

設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

コンピューターで本機を制御する(LAN)

■ MAIL設定

メール通知に関する設定をします。

本機をネットワークに接続して使用しているとき、各種エラーが発生した場合に、本機の状態を E メールでコンピューターなどへ通知します。

- Alert Mail..... エラーが発生した場合、本機から RECIPIENT'S ADDRESS へメール通知をおこないます。
STATUS MESSAGE が ENABLE に設定されていると、本機が無信号状態になった場合もメール通知をおこないます。
ENABLE: 以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。
DISABLE: メール通知機能が停止します。
- Status Message ALERT MAIL に無信号状態のメール通知を含むかどうかを設定します。
ENABLE: 以下の設定に基づいて無信号状態を通知する機能が働きます。
DISABLE: 本機の無信号状態を通知する機能が停止します。
- Sender's Address 差出人アドレスを設定します (英数字と記号、最大 60 文字)。Eメールの「from」にあたるアドレスです。
- SMTP Server メール送信に使用する SMTP サーバーを設定します (英数字最大 60 文字)。
- Recipient's Address 1 to 3.... 宛先のアドレスを設定します (英数字と記号、最大 60 文字)。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。
- Authentication Method..... メール送信の認証方式を選択します。
- POP3 Server..... メールの認証に使用するPOP3サーバーのアドレスを指定します。
- User Name メール送信に認証が必要な場合、認証サーバーにログインするためのユーザー名を設定します (英数字最大 60 文字)。
- Password メール送信に認証が必要な場合、認証サーバーにログインするためのパスワード名を設定します。(英数字最大 60 文字)。
- Test Mail..... メール設定通知を確認するために、テストメールを送信します。

ご 参 考

- 送信テストをおこなって、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定の設定内容を確認してください。
- 宛先のアドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスを確認してください。

Alert Mail一覧

エラー番号 Error Code	Alert mail メッセージ	説明	対策
70h ~ 7Fh	The monitor's power supply is not functioning normally.	電源異常	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
90h ~ 9Fh	The monitor's backlight unit is not functioning normally.	バックライト異常	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
AOh ~ AFh	The monitor is overheated.	温度異常	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。
BOh ~ BFh	The monitor does not receive an input signal.	No signal.	「困ったとき」の「画面に何も映らない」「電源ランプが青色に点灯または青色以外に点灯もしくは点滅している場合」を参照してください。
DOh	The remaining capacity of the error log decreased.	Proof of Play ログ容量が少なくなっています。	外部コマンドを使用して、ログを取得してください。詳細は本取扱説明書の「Proof of Play 機能」を参照ください。
D1h	The battery for clocks is empty.	バッテリーが切れています。	本機を電源コンセントにつなぎ充電してください。OSD メニューの「日付 / 時刻設定」を設定してください。
EOh ~ EFh	A system error occurred in the monitor.	システムエラー	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口へご相談ください。

コンピューターで本機を制御する(LAN)

■ SNMP設定

SNMP に関する設定をします。

SNMP はディスプレイとの通信に利用するネットワーク管理プロトコルです。

SNMP の有効 / 無効を設定します。

[HOME](#)
[REMOTE CONTROL](#)
[INPUT](#)
[PICTURE](#)
[AUDIO](#)
[SCHEDULE](#)
[PROTECT](#)
[SYSTEM](#)
[NETWORK](#)
[MAIL](#)
[SNMP](#)
[AMX](#)
[NAME](#)
[NETWORK SERVICE](#)
[UPDATE FIRMWARE](#)

SNMP SETTINGS

SNMP	☐ ENABLE ☒ DISABLE
SNMP VERSION	SNMPv2c ▼
COMMUNITY NAME 1	public ☒ READ ONLY ☐ READ/WRITE
COMMUNITY NAME 2	public ☒ READ ONLY ☐ READ/WRITE
COMMUNITY NAME 3	public ☒ READ ONLY ☐ READ/WRITE
TRAP	☐ ENABLE ☒ DISABLE
TRAP ADDRESS	____.____.____.____
TRAP OPTION	☐ TEMPERATURE ☐ POWER ☐ INVERTER / BACKLIGHT ☐ NO SIGNAL ☐ PROOF OF PLAY ☐ SYSTEM ERROR

[APPLY](#)[RESET](#)

SNMP VERSION

SNMP v1..... コミュニティ名による平文の認証、Trap 再送確認なし

SNMP v2c..... コミュニティ名による平文の認証、Trap 再送確認あり

COMMUNITY NAME

SNMP で管理するグループの名前とアクセスタイプを設定します。

コミュニティ名の初期設定は public です。

READ ONLY..... READ ONLY は情報の読み込みだけが可能となります。

READ/WRITE..... READ/WRITE は情報の読み / 書きが可能になります。

TRAP

トラップ機能の有効 / 無効を設定します。

有効にした場合、TRAP OPTION で設定した項目を通知します。

TRAP ADDRESS

トラップ機能での通知先ポート番号を設定します。

TRAP OPTION

トラップ機能で通知するイベントを設定します。

Trap 選択項目	説明	エラーコード
Temperature	温度異常	0xA0, 0xA1, 0xA2
Power	電源異常	0x70, 0x71, 0x72, 0x78
Inverter/Backlight	バックライト異常	0x90, 0x91
No Signal	NO SIGNAL	0xB0
PROOF OF PLAY	Proof of Play ログ容量の残量減少	0xD0
System Error	システムエラー	0xE0

■ AMX設定

HOME 画面左側にある AMX をクリックして設定画面に入ります。

AMX BEACON 本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からシステムへのビーコン送信機能の有効 / 無効を設定します。

ご参考

AMX Device Discoveryは、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要なDevice Discovery ModuleをAMXのサーバからダウンロードする仕組みです。

■ NAME設定

各名称の設定をします。

MONITOR NAME 本機の名称を設定します (英数字最大 16 文字)。初期設定はモデル名です。
この名称はアプリケーション使用時に同じネットワーク上の機器を検索すると表示されます。

HOSTNAME 本機のホスト名を設定します (英数字最大 15 文字)。

DOMAIN NAME 本機のドメイン名を設定します (英数字最大 60 文字)。

■ NETWORK SERVICE 設定

HOME 画面左側にある NETWORK SERVICE をクリックして設定画面に入ります。

PJLink CLASS 使用するPJLink (ピージェイリンク) のクラスを指定します。

ご参考

PJLink (ピージェイリンク) とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (略称 JBMIA) が制定したネットワーク (通信) インターフェイス規格です。
<https://pjlink.jbmia.or.jp/index.html> 本機は、PJLink class 1、class 2のすべてのコマンドに対応しています。

NOTIFY FUNCTION ENABLE ディスプレイのネットワークの変化を通知する機能の有効 / 無効を設定します。PJLink class 2 で使用する機能です。

NOTIFY ADDRESS ディスプレイの変化を通知する先の IP アドレスを設定します。PJLink class 2 で使用する機能です。

PJLink PASSWORD PJLink を使用する場合に、パスワードを設定します。パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。

HTTP PASSWORD HTTP サーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。

HTTP PASSWORD ENABLE HTTP サーバーにログインする際のパスワード入力の有無を設定します。パスワードを入力する際は、USER NAME に本機の名称を設定します。

コンピューターで本機を制御する(LAN)

コマンドによる制御

RS-232C 端子やネットワーク (LAN) 経由で接続した外部機器とコマンドを送受信することでディスプレイの制御ができます。それぞれのコマンドフォーマットは、Web サイトの外部制御コマンド説明書 (「付録 A 外部のリソース」 [77 ページ](#)) を参照ください。

■ RS-232C端子を使用した接続

項目	詳細
プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600 [bps]
データ長	8 [bits]
パリティ	なし
ストップビット	1 [bit]
フロー制御	なし

■ ネットワーク(LAN)経由での接続

項目	詳細
プロトコル	TCP
ポートナンバー	7142
コミュニケーション速度	自動設定 (10/100 Mbps)

■ ASCII コントロールコマンドについて

本機は、外部制御コマンド説明書に記載されたコマンドの他に、当社のディスプレイまたはプロジェクターを制御するための共通 ASCII コントロールコマンドに対応しています。コマンドの詳細は当社 Web サイトを参照ください。

ご参考

「クイック起動」を「禁止」に設定し、本機の電源をオフした場合、RS-232C 経由での ASCII コントロールコマンドは使用できません。電源オフでもご使用する場合は「クイック起動」を「許可」に設定しご使用ください。

本機で使用するパラメーター

入力コマンド

入力信号名称	レスポンス	パラメーター
DisplayPort	displayport	displayport
HDMI1	hdmi1	hdmi1 または hdmi
HDMI2	hdmi2	hdmi2
VGA	vga	vga
Media Player	mp	mp

ステータスコマンド

レスポンス	エラー状態
error:temp	温度異常
error:light	バックライト異常
error:system	システムエラー

Proof of Play機能

表示状態をセルフチェックし、ネットワークを通じて本機の状態を通知する機能です。詳しくは当社 Web サイトの外部制御コマンド説明書（「付録 A 外部のリソース」[77 ページ](#)）を参照ください。

以下がセルフチェック項目です。

チェック項目		通知内容
①	選択されている映像入力	DisplayPort、HDMI1、HDMI2、VGA(RGB)、Media Player
②	入力信号の解像度	(例) (H)1920, (V)1080, (H)3840, (V)2160 or No signal or Invalid signal
③	入力されているオーディオ信号の有無	Audio in or No Audio in or N/A
④	映像の出力状態	Normal Picture or No Picture
⑤	オーディオの出力状態	Normal Audio or No Audio
⑥	年月日時間	年 / 月 / 日 / 時間 (h) / 分 (m) / 秒 (S)
⑦	EXPANSION DATA	00h: Normal Proof of Play event 01h: Proof of Play event is "last power on time" 10h: MEDIA PLAYER is stop 11h: MEDIA PLAYER is start 12h: MEDIA PLAYER is pause 13h: MEDIA PLAYER error occur 40h: Human detected (Human sensor Status) 41h: Human detect cleared (Human Sensor Status)

通知メッセージ例

- ① HDMI1
- ② 3840 x 2160
- ③ Audio in
- ④ Normal Picture
- ⑤ Normal Audio
- ⑥ 2024/1/1/0h/0m/0s
- ⑦ 10h: MEDIA PLAYER is stop

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
アフターサービスについては [73 ページ](#)をご覧ください。

表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが赤色に点滅している場合	本機の故障の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P.73
	電源ランプが点灯しない場合 OSD メニューの「システム」→「電源ランプ」が「オン」の場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.21
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		主電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。	P.24
	電源ランプが青色に点灯している場合	信号入力が無い入力端子が選択されている可能性があります。入力切替ボタンを押して、入力端子を切り替えてください。	P.13
		OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	
		● OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P.73
		● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。「映像設定」の「バックライト」と「コントラスト」を調節してください。	P.35
	電源ランプが青色以外に点灯もしくは点滅している場合	● OSD 画面が正常に表示され、「バックライト」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.74
		パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かす、またはリモコンの POWER ボタンを押してください。	P.24 , P.25 , P.26
		信号ケーブルが本機または接続機器の端子に正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.19
画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになり、表示しなくなった場合*	接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	
		新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P.73

※ ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

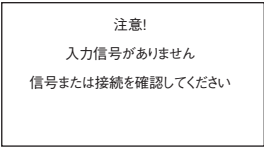
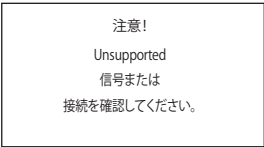
表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.3
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P.75
画面の表示状態が変わっていく	ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.26
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。ただし、長時間 同じ画像を表示し続けると、消えない場合があります。	
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P.73
	● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「シグナルフォーマット」と「ビデオレンジ」の設定内容を変更し、正しく表示されるかご確認ください。「シグナルフォーマット」と「ビデオレンジ」の設定を変更しても正しく表示されない場合は、「色のこさ」を選択し、お好みで色の割合を調節していただくか、または映像設定の「アドバンスド」のリセットをおこなって工場出荷値に戻してください。	P.34, P.35, P.36, P.39
	● OSD画面が正常に表示され、「映像設定」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.19, P.35
画面がざらつく(上記以外の場合)、または映像が一瞬途切れる	中継器、分配器、長いケーブルを使用した場合、画面のざらつきや映像が一瞬途切れることがあります。ご使用のケーブルをシールド付きの物に交換する、もしくは中継器、分配器を使用せずに直接ディスプレイ本体にケーブルを接続してください。ツイストペアケーブル延長器をご利用の際はシールド付きケーブルに対応したものをご使用ください。また、使用環境や使用ケーブルによって画面にノイズが現れたり映像が途切れることがあります。接続されているシステムに関するご相談は、ご購入の販売店または営業担当にお問い合わせください。シャープサポートページの問い合わせフォームよりお問い合わせいただくことも可能です。 シャープサポートページ： https://jp.sharp/business/lcd-display/support/	
	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P.73
	● HDMI入力を使用し、解像度3840×2160または4096×2160にて入力した際に映像が途切れる場合は、4K対応のHDMIケーブルをご使用ください。	
	● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P.31
	● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.74

故障かな?と思ったら

自動的に電源が切れてしまう	「オフタイマー」の設定を確認してください。 「CEC」の設定を「オフ」にしてください。	P.34, P.40
スケジュール機能で設定したとおりに動作しない	「オフタイマー」の設定を確認してください。 「オフタイマー」が「オン」と設定されている場合は、スケジュール機能は動作しません。	P.40
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	
OSD項目が見つからない	OSDメニューを「ポートレート」で表示している場合、一部の機能は表示されません。「ランドスケープ」に設定の上、確認してください。	P.45

案内画面／注意画面が表示されたら…

症 状	原 因	対 処	参照
画面に「注意」が表示された※1 	信号ケーブルが本体またはコンピューターの端子に正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本体およびコンピューターの端子に正しく接続してください。	P.19
	HDMI入力が切り替わった可能性があります。	「CEC」の設定を無効にしてください。	P.34
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	
※2 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.74
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.74
画面に「温度警告！！」が表示された	周りの環境が保証温度を超えた状態になっています。	故障の原因となりますので、電源を切ってください。	

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他（コンピューターと接続している場合）

症 状	原因と対処	参考
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.24
	ビデオカードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	

その他（リモコン、スピーカー）

症 状	原因と対処	参照
リモコンで操作できない	● リモコンの乾電池の＋が正しい向きに入っているか確認してください。 ● ディスプレイ本体またはリモート入力端子に接続したセンサーユニットの受光部に正しく向けていない可能性があります。 ● 「ロック設定」の選択が「IR」または「KEY & IR」が設定されている可能性があります。リモコンロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、DISPLAY ボタンを5秒以上押してください。 ● リモコンがIDモードになっている可能性があります。リモコンのREMOTE IDのCLEAR ボタンを5秒以上押すとリモコンはノーマルモードに戻ります。 ● モニターIDとリモコンIDの番号が一致しているか確認してください。番号が一致していない場合は、「リモコンIDモード機能について」を参照し、番号を再設定してください。	P.22, P.56, P.54
映像は出るが、音が出ない	● オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。また音声バランスが片側によっていないか調べてください。片側によっている場合はバランス設定をセンターに戻してください。オーディオ出力コネクタの音声は、「サラウンド」と「イコライザー」の調節はできません。 ● 消音状態になっていませんか。リモコンの MUTE ボタンを押して、音が出るかどうかを確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。本体の ◀ ▶ ボタンまたはリモコンの VOL+ または VOL- で音量を調節してください。 ● DisplayPort 接続している機器によっては音声出力非対応の場合があります。 ● 表示中の HDMI コネクタに HDMI CEC 対応音声機器を接続していない場合は「オーディオレシーバー」を「しない」に設定してください。 ご 参 考 ・ 音声入力の切替えは、映像入力ごとに設定が可能です。	P.19, P.27, P.39

その他（USB、RS-232C または LAN で接続している）

症 状	原因と対処	参照
RS-232C で制御できない	リバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232C ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	P.58
LAN で制御できない	LAN ケーブル(カテゴリ5以上)が正しく接続されているかを確認してください。	P.59
	ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。	P.59

メディアプレーヤーを使用するとき

症 状	原因と対処	参照
メディアプレーヤー機能でUSBメモリーが認識されない	USBにUSBメモリーが正しく接続されていることを確認してください。	P.19

故障かな?と思ったら

映像機器を使用するとき

症 状	原因と対処	参照
映像も音も出ない	プレーヤーなどの外部機器は正しく接続し、正しく操作していますか。詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。	P.19
	本機のパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。外部機器側が動作(再生)状態になっているかご確認ください。	P.26
色がつかない、色がおかしい	「色のこさ」の調節をしてください。	P.36
画面が縦長に見える	16：9の映像が4：3に圧縮され、縦長の映像として表示されている場合(スクイーズ信号)があります。 正しい比率で見るために、画面の「アスペクト」を「ワイド」に設定してください。	P.30

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から3年間です（ただし、光源のLED バックライトは消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は、別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 補修用性能部品について

当社は、原則として、本製品の補修用性能部品を製造打切後、5年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ 修理を依頼される時は（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（68 ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入のの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（同梱のご相談窓口のご案内）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- ・ 品名：インフォメーションディスプレイ
- ・ 形名：PN-M322（取り付けしている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
- ・ お買いあげ日（年月日）
- ・ 故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- ・ お名前
- ・ 電話番号
- ・ ご訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入のの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（同梱のご相談窓口のご案内）にお問い合わせください。

仕様

信号名	解像度	走査周波数		HDMI		DisplayPort	VGA (RGB)	備考
		水平	垂直	設定 1	設定 2			
VGA	640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	
SVGA	800 × 600	37.9 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	
XGA	1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	
HD	1280 × 720	45.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	
WXGA	1280 × 768	47.8 kHz	60 Hz	Yes	No	Yes	Yes	
	1280 × 800	49.7 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	
SXGA	1280 × 1024	64 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	
WXGA	1360 × 768	47.7 kHz	60 Hz	Yes	No	Yes	Yes	
	1366 × 768	47.7 kHz	60 Hz	Yes	No	Yes	Yes	
SXGA+	1400 × 1050	65.3 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	
WXGA+	1440 × 900	55.9 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	
UXGA	1600 × 1200	75.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	
WSXGA+	1680 × 1050	65.3 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	
Full HD	1920 × 1080	67.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	Yes	推奨信号タイミング
WUXGA	1920 × 1200	74.6 kHz	60 Hz	No	Yes	Yes	Yes	簡易圧縮表示
4K/2	1920 × 2160	133.3 kHz	60 Hz	No	Yes	No	No	簡易圧縮表示
4K	3840 × 2160	54.0 kHz	24 Hz	Yes	Yes	Yes	No	簡易圧縮表示
	3840 × 2160	56.3 kHz	25 Hz	Yes	Yes	Yes	No	簡易圧縮表示
	3840 × 2160	65.7 kHz	30 Hz	No	No	Yes	No	簡易圧縮表示
	3840 × 2160	67.5 kHz	30 Hz	Yes	Yes	Yes	No	簡易圧縮表示
	3840 × 2160	112.5 kHz	50 Hz	No	Yes	Yes*	No	簡易圧縮表示
	3840 × 2160	133.3 kHz	60 Hz	No	No	Yes*	No	簡易圧縮表示
	3840 × 2160	135.0 kHz	60 Hz	No	Yes	Yes*	No	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	54.0 kHz	24 Hz	Yes	Yes	Yes	No	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	56.3 kHz	25 Hz	No	Yes	Yes	No	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	67.5 kHz	30 Hz	No	Yes	Yes	No	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	112.5 kHz	50 Hz	No	Yes	Yes*	No	簡易圧縮表示
	4096 × 2160	135.0 kHz	60 Hz	No	Yes	Yes*	No	簡易圧縮表示
HDTV (1080p)	1920 × 1080	27.0 kHz	24 Hz	Yes	Yes	Yes	No	
	1920 × 1080	28.1 kHz	25 Hz	Yes	Yes	Yes	No	
	1920 × 1080	33.8 kHz	30 Hz	Yes	Yes	Yes	No	
	1920 × 1080	56.3 kHz	50 Hz	Yes	Yes	Yes	No	
	1920 × 1080	67.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	No	
HDTV (1080i)	1920 × 1080 (interlace)	28.1 kHz	50 Hz	Yes	Yes	Yes	No	
	1920 × 1080 (interlace)	33.8 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	No	
HDTV(720p)	1280 × 720	37.5 kHz	50 Hz	Yes	Yes	Yes	No	
	1280 × 720	45.0 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	No	
SDTV(576p)	720 × 576	31.3 kHz	50 Hz	Yes	Yes	Yes	No	
SDTV(480p)	720 × 480	31.5 kHz	60 Hz	Yes	Yes	Yes	No	
SDTV(576i)	720 × 576 (interlace)	15.6 kHz	50 Hz	Yes	Yes	No	No	
SDTV(480i)	720 × 480 (interlace)	15.7 kHz	60 Hz	Yes	Yes	No	No	

*：HBR2 選択時のみ

ご参考

- 入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

■ 製品仕様

形名		PN-M322
液晶表示素子		32型ワイド(対角80.13 cm) TFT液晶
最大解像度		1920 × 1080
最大表示色		約1677万色
画素ピッチ		水平0.364 mm × 垂直0.364 mm
輝度(標準値)		450 cd/m ² *1
コントラスト(標準値)		4000:1
視野角		左右178°/上下178°(コントラスト比≥10)
表示画面サイズ		698.40 × 392.85 mm
応答速度(標準値)		8.0 ms (Gray to Gray)
ブラグ&プレイ		VESA対応
入力端子	映像/音声	DisplayPort (1系統) HDMI (2系統) VGA(RGB) (1系統)
	シリアル(RS-232C)	D-sub 9 pin (1系統)
	リモート	Φ3.5 mmステレオミニジャック (1系統)
出力端子	音声	HDMI (1系統) Φ3.5 mmステレオミニジャック (1系統)
USB端子		USB 2.0 (USB Type-A) (1系統)
LAN端子		10 BASE-T/100 BASE-TX
電源供給端子		5 V, 2 A (USB Type-A)
スピーカー出力		5 W + 5 W
電源*2		AC 100 - 240 V, 0.8 A - 0.3 A, 50/60 Hz
使用温度条件*3		0~40 °C
使用湿度条件		20~80 % (結露なきこと)
使用高度条件		3000 m 以下
保管温度条件		-20~60 °C
保管湿度条件		10~80 % (結露なきこと)
消費電力*4 (最大/ネットワークスタンバイモード*5/スタンバイモード*6)		40 W (75 W/2.0 W/0.5 W/0.0 W)
外形寸法(突起部を除く)		幅約 726.5 mm × 奥行約 66.5 mm × 高さ約 425.4 mm
質量		約 6.3 kg
梱包時寸法		幅約 870 mm x 奥行約 160 mm x 高さ約 527 mm
梱包時質量		約 9 kg

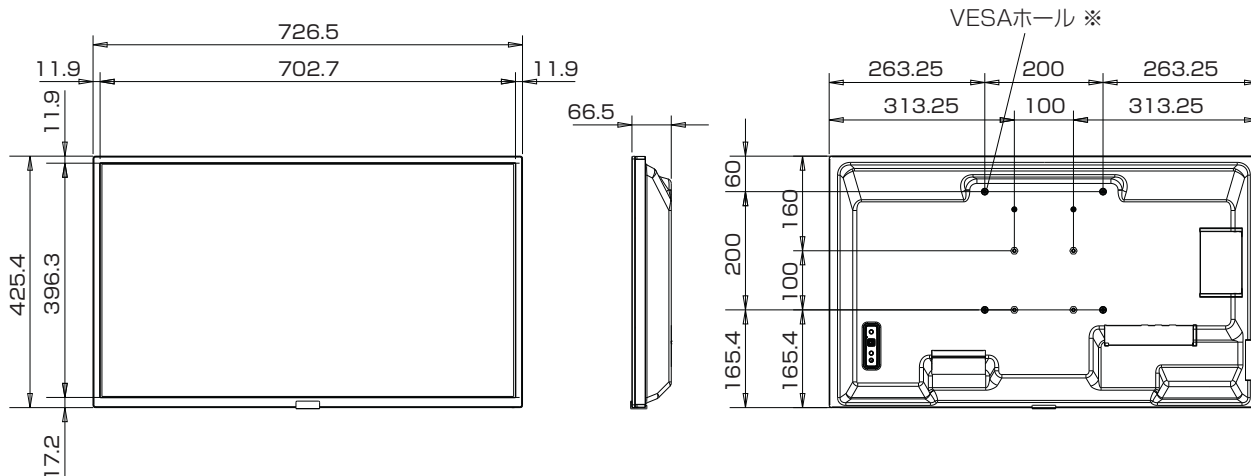
- ※ 1 輝度は、入力モードや映像調節の設定などにより変わります。
また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。
- ※ 2 AC200 V(50/60 Hz)のコンセントを使用するときは、別売の電源コード(QACCJ1093MPPZ)を使用してください。
- ※ 3 別売品を付けると温度条件が変わる場合があります。
- ※ 4 工場出荷時の設定条件(別売品未装着)。
- ※ 5 ネットワークスタンバイに移行するまでの待機時間：10秒(工場出荷時の設定)。
- ※ 6 スタンバイモードに移行するまでの待機時間：3分10秒(工場出荷時の設定)。

仕様

■ 寸法図

数値はおよその値です。

(単位 : mm)



※ VESA 規格の金具の取り付けには、以下のM4ネジを使用してください。

取付金具のピッチ200 x 200 mm:長さが取付け金具の厚さ+ 6~10 mm のものを使用してください。

取付金具のピッチ100 x 100 mm:長さが取付け金具の厚さ+ 10~14 mm のものを使用してください。

付録-A 外部のリソース

本機の仕様、アクセサリやオプションのソフトウェアに関するドキュメントで、取扱説明書にも記載されているものは以下のとおりです。

■ 本機についての Web サイト

日本：<https://jp.sharp/business/lcd-display/>

■ 補足ドキュメント

外部制御コマンド説明書

RS-232C または LAN を介してディスプレイを外部制御したりディスプレイへの問い合わせをするための通信プロトコルについて記載しています。このプロトコルは符号化バイナリを用いており、チェックサム計算が必要で、ディスプレイのほぼすべての機能を制御できるコマンドです。

詳細は Web サイトを参照ください。

Projector / Monitor 共通制御コマンド説明書

LAN を介して、シンプルな英語に似たシンタックスのコマンドでディスプレイの基本機能を外部制御するための通信プロトコルについて記載しています。既存の制御システムに少ない手間で統合化するのに向いています。電源の状態、ビデオ系入力、音量やディスプレイの状態に関する制御や問い合わせといった機能を利用することができます。プロトコルは ASCII にエンコードされており、チェックサム計算は不要です。

詳細は Web サイトを参照ください。

■ ソフトウェア

「NaViSet Administrator」ソフトウェア



ディスプレイおよびプロジェクターをネットワークを介して高度に、かつパワフルに制御・監視し、資産を管理するフリーソフトです。Windows および macOS 環境下で動作します。

最新バージョンの「NaViSet Administrator」ソフトウェアについては、販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

「インフォメーションディスプレイダウンローダー」ソフトウェア

各ソフトウェアの最新版の確認とダウンロードができます。Windows 環境下で動作します。

「インフォメーションディスプレイダウンローダー」ソフトウェアは、以下の Web サイトからダウンロードできます。

https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/driver_soft.html

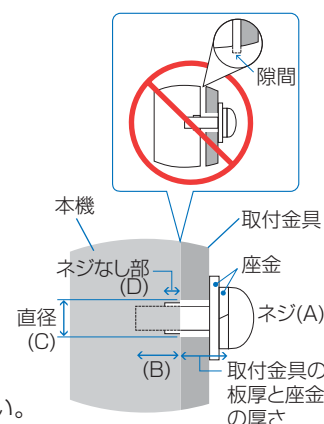
設置時の注意事項（ご販売店・設置業者様用）

設置の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

ご販売店、設置業者様は以下の説明をお読みのうえ本機を設置してください。

取付金具について

- 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
本機の 4 倍の質量に耐えるものを使用してください。
- 取り付け前に、強度など安全性を確認してください。
- 金具の一部がディスプレイの通風孔をふさがないようにご注意ください。
- 取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書を参照ください。
- 取付穴は後面に4個あります。取り付けの際は上下左右均等に取り付けてください。
（推奨取り付け例は「設置方法」を参照ください）
- ディスプレイへの金具の取り付けには以下のサイズのネジを使用し、しっかりと締めてください。



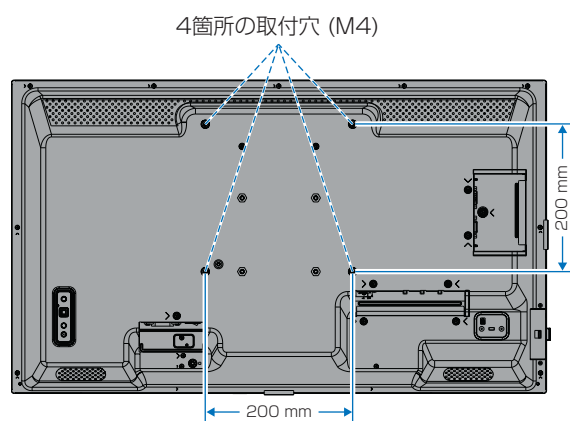
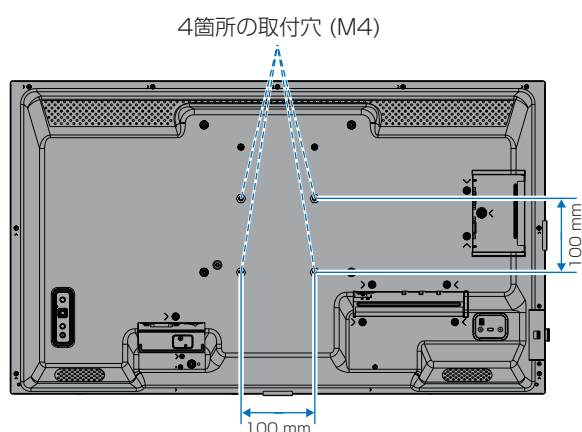
取付金具ピッチ	ネジサイズ		+ 取付金具の板厚と座金の厚さ	ネジ穴直径 (C)	ネジなし部 (D)	締付トルク
	(A)	(B)				
100 x 100 mm	M4	10~14 mm		≦ Ø 6 mm	6 mm	120~190 N・cm
200 x 200 mm		6~10 mm			2 mm	

■ 設置方法

ご注意

- 取り付け時は本機の取っ手と右下および左下部分を持ち、表示面に触れないようにしてください。他の場所に力が加わるとディスプレイが変形するおそれがあります。
- 必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。

- 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。
- ディスプレイをその上に置きます。
- 市販の取付金具を取り付けてください。
取り付け、取り外し方法の詳細は、市販の壁掛け用や天吊り用金具の取扱説明書を参照してください。



■ 落下防止対応のお願い

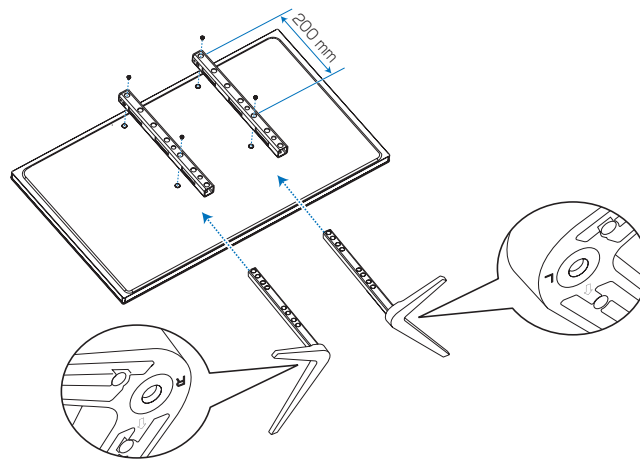
ディスプレイを壁掛けや天吊りで設置する場合は、市販の壁掛け・天吊り金具を使用し、さらに落下防止用ワイヤーを設置してください。

■ 自立スタンド(別売を使用する場合)

スタンドの取り付けにはスタンドの取扱説明書を良くお読みください。

ご 注 意

- スタンドに付属のネジをお使いください。
- 横型設置のみ対応です。
- 別売りのスタンドは PN-ST321/ST-32M をご使用ください。



スタンドの高さを調節する場合

1. パイプ下部をスタンドボールの高または低の線に合わせ、設置高さを決めます。(図1)
2. 高さを決めたらスタンドに付属のネジでスタンドボールを2箇所固定します。スタンドボールは必ず2箇所を固定してください。(図2)

図 1

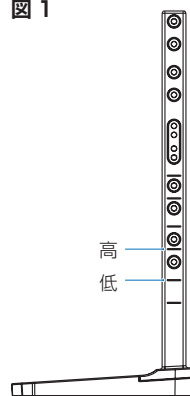
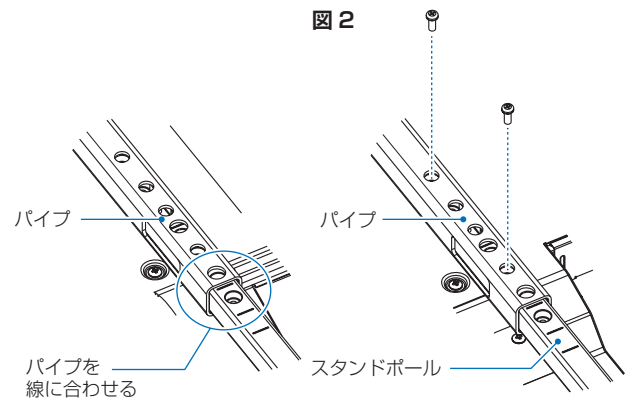


図 2



シャープ株式会社

本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

●住所などは変わることがあります。(2025.5)